

植 物

(1) 植物相の概要

長崎市の植物相の最大の特徴は、南方系植物が多く分布することである。県内でも北部では少ないか全くなく、長崎市など南部に分布する植物として、オオイワヒトデ、カツモウイノデ、コクモウクジャク、ヤワラハチジョウシダ、アオノクマタケラン、ヘツカニガキ、シマキケマン、ビロウ、ミヤコジマツツラフジ、サツマサンキライ、マルバハダカホオズキなど多い。中でもヘゴ、リュウビンタイ、イヌケホシダなどは五島列島南部と長崎市だけに分布している。市内ではリュウビンタイとイヌケホシダの生育地は1ヵ所ずつ見られるが、ヘゴは旧長崎市南部の谷に2ヵ所の生育地がある。2つ目の特徴として、九州全体から見ても西彼杵半島に最も生育地が多い植物があり、中でも旧琴海町に多くの生育地が見られる。その代表はヒモヅルで、全国的には珍しい植物であるが、旧琴海町から旧西彼町の山地に多い。カネコシダも日本最大の群落が旧琴海町に見られる。ハナビスゲは西彼杵半島が北限自生地で、旧琴海町が日本で最も生育地が多い。その他、アラゲサンショウソウも長崎県では旧琴海町のみで生育している。

長崎県北部には小さい湿地が見られ、貴重な植物が多く生育しており、絶滅危惧種に指定されている植物も少なくない。それらの湿地にはヤマトミクリ、ゴマシオホシクサ、クロホシクサ、オオホシクサ、ニッポンイヌノヒゲ、ミズトンボ、カキラン、ミミカキグサ、ムラサキミミカキグサ、ヤマドリセンマイなどが生育している。残念なことに一部の湿地では埋立てがおこなわれ、絶滅した植物もある。

山地の尾根すじの土壌が浅い場所や露岩地、その周辺の毎年草刈りが行われる所には自然に近い草本群落が発達しており、半自然草原とよばれている。そこにはオガルカヤ、メガルカヤ、モコロシガヤ、チガヤ、シバ、ナガサキシヤジン、オミナエシ、キンバイザサなどふつうに見られる植物のほか、ムラサキセンブリ、ノヒメユリ、コキンバイザサ、ロクオンソウ、スズサイコ、ホソバヒメトラノオ、イヌハギなどの絶滅危惧種が生育している。かつてはオキナグサも見られたが、最近では発見されていない。完全な露元地ではダンギク、イワヒバ、ナガサキマンネングサなどが生育している。

高い山地はないので、温帯性の植物は乏しく、わずかにツクシシヨジョウバカマ、ツクシシヤクナゲ、ジュウモンジシダ、ジンジソウ、ウリノキ、アズキナシなどが山地に生育している。

一方、海岸には海岸植物とよばれる海からの影響に適応した特殊な植物が生育している。市内には砂礫浜は少なく、ハマヒルガオ、ハマエンドウ、ハマゴウを除くと、ハマボウフウ、コウボウムギ、コウボウシバ、ケカモノハシなどの生育地は限られている。岩石海岸ではハマボウフウ、ホソバワダン、ハマナデシコがふつうに見られ、南部ではソナレムグラが生育している。塩性湿地は主に河口付近に見られ、かつては旧長崎市磯道町にはヒロハマツナ、ハマサジ、シバナなどの群落があったが、長崎大水害とその後の工事のために絶滅した。現在では旧琴海町西海川河口に比較的大きな塩性湿地が見られ、シバナ、ウラギク、ハマサジ、シオクグなどの群落が見られる。

(2) — ① 植物リスト (シダ植物)

	科名	和名	県区分	環境省区分	ページ
絶滅危惧ⅠA類 (CR)	ウラボシ科	カネコシダ	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	13
	ヘゴ科	ヘゴ	絶滅危惧ⅠA類 (CR)	—	13
	リュウビнтаイ科	リュウビнтаイ	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	—	13
	イノモトソウ科	エダウチホングウシダ	絶滅危惧ⅠA類 (CR)	—	13
		ヤワラハチジョウシダ	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	—	14
	オシダ科	ニセヨゴレイタチシダ	絶滅危惧ⅠA類 (CR)	準絶滅危惧 (NT)	14
		ニセコクモウクジャク	準絶滅危惧 (NT)	—	14
	ヒメシダ科	アミシダ	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	—	14
		ヒメミソシダ	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	準絶滅危惧 (NT)	15
		ケホシダ	準絶滅危惧 (NT)	—	15
	イワデンダ科	サカバサトメシダ	絶滅危惧ⅠA類 (CR)	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	15
		ヒロハノコギリシダ	絶滅危惧ⅠA類 (CR)	—	15
		ヒメノコギリシダ	絶滅危惧ⅠA類 (CR)	—	16
	スジヒトツバ科	スジヒトツバ	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	—	16
	ウラボシ科	サジラン	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	—	16
		タキミシダ	絶滅危惧ⅠA類 (CR)	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	16
デンジソウ科	デンジソウ	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	17	
アカウキクサ科	アカウキクサ	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	17	
ミズニラ科	オオバシナミズニラ	絶滅危惧ⅠA類 (CR)	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	17	
ハナワラビ科	ハマハナヤスリ	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	—	17	
絶滅危惧ⅠB類 (EN)	マツバラ科	マツバラ	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	準絶滅危惧 (NT)	18
	コケシノブ科	ツルホラゴケ	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	—	18
	ホウライシダ科	エビガラシダ	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	準絶滅危惧 (NT)	18
	シノブ科	シノブ	—	—	18
	オシダ科	ミサキカグマ	—	—	19
		ツクシオオクジャク	—	—	19
	ヒメシダ科	ヒメハシゴシダ	準絶滅危惧 (NT)	—	19
	ウラボシ科	イワヤナギシダ	—	—	19
		コウラボシ	—	—	20
アカウキクサ科	オオアカウキクサ	準絶滅危惧 (NT)	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	20	
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	ヒカゲノカズラ科	ヒモズル	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	20
	ゼンマイ科	シロヤマゼンマイ	—	—	20
	ゼンマイ科	ヤマドリゼンマイ	準絶滅危惧 (NT)	—	21
	ホウライシダ科	ヒメウラボシ	準絶滅危惧 (NT)	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	21
	イノモトソウ科	ハマホラシノブ	—	—	21
	オシダ科	テツホシダ	準絶滅危惧 (NT)	—	21
	オシダ科	イワイタチシダ	—	—	22
	オシダ科	ツクシイワヘゴ	—	—	22
	オシダ科	ナチクジャク	—	—	22
	チャセンシダ科	シモツケヌリトラノオ	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	—	22
	チャセンシダ科	イヌチャセンシダ	—	—	23
	チャセンシダ科	トキワトラノオ	準絶滅危惧 (NT)	—	23
	情報不足 (DD)	ウラボシ科	ヤノネシダ	絶滅危惧ⅠA類 (CR)	—

(2) ー ② 植物リスト (離弁花)

	科名	和名	県区分	環境省区分	ページ
絶滅 (EX)	アカザ科	ヒロハマツナ	絶滅危惧 I B類 (EN)	絶滅危惧 II 類 (VU)	24
	ユキノシタ科	ジンジソウ	—	—	24
絶滅危惧 I A類 (CR)	ウマノスズクサ科	ツクシアオイ	絶滅危惧 II 類 (VU)	絶滅危惧 II 類 (VU)	24
	ナデシコ科	タチハコベ	絶滅危惧 II 類 (VU)	絶滅危惧 II 類 (VU)	24
	キンボウゲ科	オキナグサ	絶滅危惧 I A類 (CR)	絶滅危惧 II 類 (VU)	25
	ハマビシ科	ハマビシ	絶滅危惧 I A類 (CR)	絶滅危惧 I B類 (EN)	25
	マメ科	ニワフジ	絶滅危惧 I A類 (CR)	—	25
		イヌハギ	絶滅危惧 I B類 (EN)	準絶滅危惧 (NT)	25
	ミカン科	タチバナ	絶滅危惧 I B類 (EN)	絶滅危惧 II 類 (VU)	26
	トウダイグサ科	ヒトツバハギ	絶滅危惧 I B類 (EN)	—	26
	アワブキ科	アオカズラ	絶滅危惧 I B類 (EN)	絶滅危惧 I B類 (EN)	26
	クロウメモドキ科	ケンボナシ	準絶滅危惧 (NT)	—	26
ハマナツメ		絶滅危惧 I B類 (EN)	絶滅危惧 II 類 (VU)	27	
ノボタン科	ヒメノボタン	絶滅危惧 I A類 (CR)	絶滅危惧 II 類 (VU)	27	
絶滅危惧 I B類 (EN)	ウマノスズクサ科	アケボノアオイ	絶滅危惧 II 類 (VU)	絶滅危惧 II 類 (VU)	27
	タデ科	シマヒメタデ	準絶滅危惧 (NT)	—	27
	モウセンゴケ科	モウセンゴケ	準絶滅危惧 (NT)	—	28
	ベンケイソウ科	ツシママンネングサ	—	—	28
	ユキノシタ科	ツクシネコノメソウ	—	—	28
	オトギリソウ科	コウライトモエソウ	絶滅危惧 I B類 (EN)	絶滅危惧 II 類 (VU)	28
		ツクヌキオトギリ	絶滅危惧 II 類 (VU)	絶滅危惧 I B類 (EN)	29
	アカバナ科	ウスゲチョウシタデ	準絶滅危惧 (NT)	絶滅危惧 II 類 (VU)	29
イラクサ科	アラゲサンショウソウ	絶滅危惧 I B類 (EN)	絶滅危惧 II 類 (VU)	29	
絶滅危惧 II 類 (VU)	ナデシコ科	ヒメハマナデシコ	—	—	29
	ツツラフジ科	ミヤコジマツツラフジ	準絶滅危惧 (NT)	—	30
	ケシ科	シマキケマン	絶滅危惧 II 類 (VU)	—	30
	ベンケイソウ科	ツメレンゲ	準絶滅危惧 (NT)	準絶滅危惧 (NT)	30
	アオイ科	ハマボウ	準絶滅危惧 (NT)	—	30
	スミレ科	ツクシスミレ	絶滅危惧 II 類 (VU)	—	31
	ミソハギ科	ヒメミソハギ	準絶滅危惧 (NT)	—	31
	ミズキ科	ハナイカダ	—	—	31
	セリ科	ハマボウフウ	絶滅危惧 II 類 (VU)	—	31
	イラクサ科	タンナヤブマオ	—	—	32
	フウチョウソウ科	ギョボク	絶滅危惧 II 類 (VU)	—	32
準絶滅危惧 (NT)	マツモ科	マツモ	—	—	32
	ドクダミ科	ハンゲショウ	—	—	32
	アブラナ科	コイヌガラシ	準絶滅危惧 (NT)	準絶滅危惧 (NT)	33
	モウセンゴケ科	コモウセンゴケ	準絶滅危惧 (NT)	—	33
	ユキノシタ科	バイカアマチャ	—	—	33
	マメ科	ハカマカズラ	—	—	33
	ブドウ科	ウドカズラ	絶滅危惧 II 類 (VU)	—	34
情報不足 (DD)	ウマノスズクサ科	クロフネサイシン	情報不足 (DD)	絶滅危惧 II 類 (VU)	34
	タデ科	ヤナギヌカボ	準絶滅危惧 (NT)	絶滅危惧 II 類 (VU)	34
	ツツラフジ科	イソヤマアオキ	準絶滅危惧 (NT)	—	34
	ニシキギ科	コクテンギ	絶滅危惧 II 類 (VU)	—	35

(2) - ③ 植物リスト (合弁花)

	科名	和名	県区分	環境省区分	ページ
絶滅危惧ⅠA類 (CR)	ツツジ科	ツクシシャクナゲ	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	—	36
	ムラサキ科	ホタルカズラ	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	—	36
	シソ科	コナミキ	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	36
		イヌゴマ	—	—	36
	ゴマノハグサ科	ホソバヒメトラノオ	準絶滅危惧 (NT)	—	37
	ハマウツボ科	ハマウツボ	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	—	37
	タヌキモ科	イトタヌキモ (ミカワタヌキモ)	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	準絶滅危惧 (NT)	37
		ミミカキグサ	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	—	37
		ムラサキミミカキグサ	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	準絶滅危惧 (NT)	38
	アカネ科	コバンムグラ	絶滅危惧ⅠA類 (CR)	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	38
キキョウ科	キキョウ	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	38	
キク科	タカサゴソウ	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	38	
絶滅危惧ⅠB類 (EN)	イチヤクソウ科	シャクジョウソウ	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	—	39
	ガガイモ科	ロクオンソウ(ヒゴビャクゼン)	準絶滅危惧 (NT)	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	39
	ムラサキ科	オオルリソウ	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	—	39
	ナス科	イガホオズキ	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	—	39
		メジロホオズキ	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	—	40
	ゴマノハグサ科	サウトウガラシ	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	—	40
		ゴマノハグサ	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	40
	アカネ科	ギョクシンカ	準絶滅危惧 (NT)	—	40
	キク科	ヒナヒゴタイ	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	絶滅危惧ⅠA類 (CR)	41
ウスベニニガナ		—	—	41	
シソ科	ホソハヤマジソ	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	41	
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	イソマツ科	ハマサジ	準絶滅危惧 (NT)	準絶滅危惧 (NT)	41
	キョウチクトウ科	サカキカズラ	—	—	42
	ガガイモ科	フナバラソウ	準絶滅危惧 (NT)	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	42
	ゴマノハグサ科	イヌノフグリ	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	42
	タヌキモ科	イヌタヌキモ	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	準絶滅危惧 (NT)	42
	アカネ科	ハツカニガキ	—	—	43
	キク科	イズハハコ (ワタナ)	準絶滅危惧 (NT)	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	43
		ウラギク	準絶滅危惧 (NT)	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	43
タウコギ		—	—	43	
ハマウツボ科	キヨスミウツボ	—	—	44	
準絶滅危惧 (NT)	リンドウ科	ムラサキセンブリ	準絶滅危惧 (NT)	準絶滅危惧 (NT)	44
	ガガイモ科	スズサイコ	準絶滅危惧 (NT)	準絶滅危惧 (NT)	44
	クマツヅラ科	ダンギク	準絶滅危惧 (NT)	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	44
	シソ科	ヤマジソ	準絶滅危惧 (NT)	準絶滅危惧 (NT)	45
		ミゾコウシュ	準絶滅危惧 (NT)	準絶滅危惧 (NT)	45
	ゴマノハグサ科	カワジシャ	準絶滅危惧 (NT)	準絶滅危惧 (NT)	45
	アカネ科	ミサオノキ	—	—	45
	キキョウ科	ツルギキョウ	準絶滅危惧 (NT)	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	46
キク科	キクタニギク	準絶滅危惧 (NT)	準絶滅危惧 (NT)	46	
情報不足 (DD)	ゴマノハグサ科	ゴマクサ	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	46
	キク科	ウラジロヤナギアザミ	準絶滅危惧 (NT)	—	46
		アキノハハコグサ	情報不足 (DD)	—	47

(2) — ④ 植物リスト (単子葉植物)

	科名	和名	県区分	環境省区分	ページ	
絶滅 (EX)	ホシクサ科	ゴマシオホシクサ	絶滅危惧 I B類 (EN)	絶滅危惧 I B類 (EN)	48	
	ラン科	ツレサギソウ	絶滅危惧 I A類 (CR)	—	48	
		キバナノセキコク	絶滅危惧 I A類 (CR)	絶滅危惧 I B類 (EN)	48	
		ササバラ	絶滅危惧 II 類 (VU)	絶滅危惧 I B類 (EN)	48	
		ウチョウラン	絶滅危惧 I B類 (EN)	絶滅危惧 II 類 (VU)	49	
		ミヤマムギラン	絶滅危惧 I A類 (CR)	準絶滅危惧 (NT)	49	
		クマガイソウ	情報不足 (DD)	絶滅危惧 II 類 (VU)	49	
絶滅危惧 I A類 (CR)	ヒルムシロ科	イトモ	絶滅危惧 II 類 (VU)	準絶滅危惧 (NT)	49	
		センニンモ	絶滅危惧 I B類 (EN)	—	50	
		ヤナギモ	絶滅危惧 I B類 (EN)	—	50	
		リュウノヒゲモ	絶滅危惧 I B類 (EN)	準絶滅危惧 (NT)	50	
	トチカガミ科	トゲウミヒルモ	絶滅危惧 I B類 (EN)	—	50	
	ホシクサ科	オオホシクサ	絶滅危惧 I B類 (EN)	—	51	
		クロホシクサ	絶滅危惧 I B類 (EN)	絶滅危惧 II 類 (VU)	51	
	ラン科	ガンゼキラン	絶滅危惧 I A類 (CR)	絶滅危惧 II 類 (VU)	51	
		ムカデラン	絶滅危惧 I A類 (CR)	絶滅危惧 II 類 (VU)	51	
		マメツタラン	絶滅危惧 I B類 (EN)	準絶滅危惧 (NT)	52	
		ムギラン	絶滅危惧 I B類 (EN)	準絶滅危惧 (NT)	52	
		ナツエビネ	絶滅危惧 I B類 (EN)	絶滅危惧 II 類 (VU)	52	
		キエビネ	絶滅危惧 I B類 (EN)	絶滅危惧 I B類 (EN)	52	
		セッコク	絶滅危惧 I B類 (EN)	—	53	
		フウラン	絶滅危惧 I B類 (EN)	絶滅危惧 II 類 (VU)	53	
		ツチアケビ	絶滅危惧 II 類 (VU)	—	53	
		ムカゴソウ	絶滅危惧 II 類 (VU)	準絶滅危惧 (NT)	53	
		ヒメフタバラン	絶滅危惧 II 類 (VU)	—	54	
		カンラン	絶滅危惧 I B類 (EN)	絶滅危惧 I A類 (CR)	54	
		絶滅危惧 I B類 (EN)	アマモ科	コアマモ	準絶滅危惧 (NT)	—
トチカガミ科			スプタ	絶滅危惧 II 類 (VU)	絶滅危惧 II 類 (VU)	54
ホンゴウソウ科	ウエマツソウ		絶滅危惧 I B類 (EN)	絶滅危惧 II 類 (VU)	55	
	ホンゴウソウ		絶滅危惧 II 類 (VU)	絶滅危惧 II 類 (VU)	55	
ミクリ科	ヤマトミクリ		絶滅危惧 II 類 (VU)	準絶滅危惧 (NT)	55	
カヤツリグサ科	キノクニスゲ		準絶滅危惧 (NT)	準絶滅危惧 (NT)	55	
	シラコスゲ		絶滅危惧 II 類 (VU)	—	56	
	オオクグ		絶滅危惧 I B類 (EN)	準絶滅危惧 (NT)	56	
	ハナビスゲ		絶滅危惧 I B類 (EN)	絶滅危惧 I B類 (EN)	56	
	ヤリテンツキ		準絶滅危惧 (NT)	絶滅危惧 II 類 (VU)	56	
	ヌカスゲ		—	—	57	
ホシクサ科	ニッポンイヌノヒゲ		—	—	57	
ビャクブ科	ヒメナベワリ		絶滅危惧 II 類 (VU)	—	57	
ユリ科	ナガサキギボウシ		絶滅危惧 I B類 (EN)	絶滅危惧 II 類 (VU)	57	
ヒガンバナ科	ムジナノカミソリ		絶滅危惧 I A類 (CR)	野生絶滅 (EW)	58	
ラン科	エビネ		絶滅危惧 I B類 (EN)	準絶滅危惧 (NT)	58	
	ヒナラン		絶滅危惧 II 類 (VU)	絶滅危惧 I B類 (EN)	58	
	ポウラン		絶滅危惧 II 類 (VU)	準絶滅危惧 (NT)	58	
	クモキリソウ		—	—	59	
	ムヨウラン		—	—	59	
	シュスラン	—	—	59		
	サイハイラン	—	—	59		
	ヤクシマネツタイラン	絶滅危惧 II 類 (VU)	絶滅危惧 II 類 (VU)	60		
	ウスギムヨウラン	準絶滅危惧 (NT)	準絶滅危惧 (NT)	60		
ヤシ科	ピロウ	—	—	60		

(2) — ④ 植物リスト (単子葉植物)

	科名	和名	県区分	環境省区分	ページ
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	ヒルムシロ科	ホソバミズヒキモ	—	—	60
	イバラモ科	オオトリゲモ	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	—	61
	シバナ科	シバナ	準絶滅危惧 (NT)	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	61
	トチカガミ科	ヤマトウミヒルモ	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	—	61
		ヤナギスブタ	準絶滅危惧 (NT)	—	61
		ミズオオバコ	準絶滅危惧 (NT)	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	62
		セキショウモ	—	—	62
	カヤツリグサ科	タイワンスゲ	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	62
		キシウナキリスゲ	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	62
		コウボウムギ	準絶滅危惧 (NT)	—	63
	ユリ科	マルバオウセイ	準絶滅危惧 (NT)	情報不足 (DD)	63
	ヒガンバナ科	オオキツネノカミソリ	—	—	63
	ヒナノシャクジョウ科	ヒナノシャクジョウ	準絶滅危惧 (NT)	—	63
	ラン科	シラン	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	準絶滅危惧 (NT)	64
		ギンラン	準絶滅危惧 (NT)	—	64
		ナギラン	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	64
		ニラバラン	準絶滅危惧 (NT)	—	64
カキラン		準絶滅危惧 (NT)	—	65	
ミズトンボ		絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	65	
キンラン		絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	—	65	
準絶滅危惧 (NT)	キンバイザサ科	コキンバイザサ	準絶滅危惧 (NT)	—	65
	イネ科	ウンヌケモドキ	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	準絶滅危惧 (NT)	66
		ミノボロ	準絶滅危惧 (NT)	—	66
		コササキビ	準絶滅危惧 (NT)	—	66
		ヒゲシバ	準絶滅危惧 (NT)	—	66
		オニシバ	—	—	67
		セイコノヨシ	—	—	67
		スズメノコビエ	—	—	67
	カヤツリグサ科	フサスゲ	準絶滅危惧 (NT)	—	67
		イトテンツキ	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	68
		イトハナビテンツキ	—	—	68
		ノグサ	—	—	68
		ヒカゲスゲ	—	—	68
		タニガワスゲ	—	—	69
	ホシクサ科	シロイヌノヒゲ	—	—	69
		イトイヌノヒゲ	—	—	69
	イグサ科	ヒメコウガイゼキショウ	準絶滅危惧 (NT)	—	69
	ビャクブ科	ナベワリ	準絶滅危惧 (NT)	—	70
	ユリ科	ノヒメユリ	準絶滅危惧 (NT)	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	70
		ツクシショウジョウバカマ	—	—	70
ニシノハマカンゾウ		—	—	70	
ヒオウギ		—	—	71	
ヒガンバナ科	ハマオモト	—	—	71	
ラン科	ミヤマウスラ	—	—	71	
情報不足 (DD)	イグサ科	ドロイ	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	—	71
	ラン科	ユウシュンラン	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	72

(3) - ① 植物 (シダ植物)

カネコシダ (ウラボシ科)

絶滅危惧 I A類 (CR)

Gleichenia laevissima Christ

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 旧琴海町、旧外海町
県内 ;

摘要

全国的にもまれなシダで、県内でも生育地は数カ所である。高さ60cm程度の常緑の中型シダで、葉は厚紙質で灰緑色、一对の2回羽状深裂の破片をつける。ウラボシに似ているが、列片が尖り、葉裏が緑色であることから違いがわかる。



ヘゴ (ヘゴ科)

絶滅危惧 I A類 (CR)

Cyathea spinulosa Wall. ex Hook.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I A類 (CR)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧長崎市南部
県内 ; 五島列島

摘要

高さ1~8mの木生シダで、長崎県では、天然記念物に指定されている。葉は2回羽状複葉で、葉質はうすい革質で光沢があり、葉柄には黒色の刺を密生する。減少の原因は盗採、開発などである。



リュウビンタイ (リュウビンタイ科)

絶滅危惧 I A類 (CR)

Angiopteris lygodiiifolia Rosenst.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 長崎市南部
県内 ; 五島市、平島

摘要

谷に生育する亜熱帯性の大型のシダで、葉は2mを越える。葉身は2回羽状複葉で、質は柔らかくやや厚い。葉柄の基部には大きな鱗片がある。



エダウチホングウシダ (イノモトソウ科)

絶滅危惧 I A類 (CR)

Lindsaea chienii Ching

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I A類 (CR)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧琴海町、現川町、泉町
県内 ; 西彼杵半島、諫早市

摘要

林床に生育する高さ30cm以下の小型のシダで、葉柄は褐色~赤褐色、葉身は三角形から長楕円形、2回羽状複葉、孢子囊群は縁近くに線状につく。



ヤワラハチジョウシダ (イノモトソウ科) **絶滅危惧 I A類(CR)**

Pteris natiensis Tagawa

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 新戸町、大山町など
県内 ; 五島市、新上五島町

摘要

湿った谷間の林床に生育する中型のシダで、紀伊半島南部、四国南部、九州南部および西部に分布し、日本の固有種である。



ニセヨゴレイタチシダ (オシダ科) **絶滅危惧 I A類(CR)**

Dryopteris hadanoi Kurata

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I A類 (CR)
環境省カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)

分布

市内 ; 本河内町
県内 ;

摘要

高さ50~70cmの常緑のシダで、照葉樹林の林床や林縁にまれに生育する。オオイタチシダに似ているが、鱗片は明るい褐色をしており、葉柄、葉軸、羽軸に圧着し、羽軸のものは袋状にならないことなどで区別される。減少の原因として森林の伐採があげられる。



ニセコクモウクジャク (オシダ科) **絶滅危惧 I A類(CR)**

Diplazium virescens Kunze var. *contermium* (Christ) Kurata

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 長崎市南部にまれ
県内 ; 五島市、諫早市、西海市

摘要

林床に生育するやや大型のシダで、コクモウクジャクに似ているが、孢子囊群が縁辺寄りに着く。



蓑田 清隆氏 写真提供

アミシダ (ヒメシダ科) **絶滅危惧 I A類(CR)**

Stegnogramma griffithii var. *wilfordii* (Hook.) K. Iwats.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧琴海町
県内 ; 西海市

摘要

湿った斜面や崖地に生育するやや小型のシダで、葉身は狭三角形単葉、または下部が深く切れ込む。網状脈で、それに沿って孢子囊群が着くので、網目状となる。



(3) - ① 植物 (シダ植物)

ヒメミゾシダ (ヒメシダ科)

絶滅危惧 I A類 (CR)

Stegnogramma gymnocarpa (Copel.) K. Iwats. subsp. *amabilis* (Tagawa) K. Iwats.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)

環境省カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)

分布

市内 ; 旧外海町

県内 ; 西海市

摘要

川沿いの湿った岩の裂け目に生育する小型のシダで、葉身は長さ10cm前後、幅2~3cmで、単羽状複葉である。



ケホシダ (ヒメシダ科)

絶滅危惧 I A類 (CR)

Thelypteris parasitica (L.) Fosberg

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)

環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 蚊焼町、平山町

県内 ; 五島市

摘要

林縁部に生育する常緑の亜熱帯性のシダで、長崎県では五島市に知られていたが、長崎市でも発見することができた。葉質は柔らかく、明るい緑色で、両面に密に毛が生えている。



サカバサトメシダ (イワデンダ科)

絶滅危惧 I A類 (CR)

Athyrium palustre Serizawa

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I A類 (CR)

環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)

分布

市内 ; 矢筈岳

県内 ; 西海市

摘要

湿地に生育する夏緑性のシダで、他の植物に、もたれかかって生育し、葉身は1m近くにも長く伸びる。葉は柔らかく、葉軸はやや下向きにつく。葉軸はやや紫色を帯びる。



ヒロハノコギリシダ (イワデンダ科)

絶滅危惧 I A類 (CR)

Diplazium dilatatum Blume

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I A類 (CR)

環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 竿浦町

県内 ; 五島市、西海市

摘要

林床に生育するやや大型で、亜熱帯性のシダである。県内では五島市に知られていたが、西海市と長崎市にも生育地が発見されている。葉身はやや三角形で、2回羽状複葉であるが、若い個体では単羽状となる。葉はやや光沢があり、孢子囊群は線状に伸びる。



ヒメノコギリシダ (イワデンダ科)

絶滅危惧 I A類 (CR)

Diplazium wichurae (Mett.) Diels var. *amabile* Tagawa

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I A類 (CR)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧長崎市南部
県内 ;

摘要

山地の谷の陰湿な林の地上に生育するまれなシダ植物である。九州ではこれまで鹿児島県と熊本県天草に記録されているが、現状は不明の状態である。九州で確実に生育しているのは、長崎市のみである。葉は長さ20~30cm、幅6~10cm、ノコギリシダに似ているが、それよりも小型である。



スジヒツツバ (スジヒツツバ科)

絶滅危惧 I A類 (CR)

Cheiropleuria bicuspis (Bl.) Presl

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧外海町、旧琴海町
県内 ; 西海市、佐世保市

摘要

乾いた崖地に生育するシダで、葉身は単葉で、栄養葉は広卵形で長さ15~20cm、孢子葉は線状披針形となる。質はやや厚く硬い。葉脈が平行脈で、数本が目立つ。



サジラン (ウラボシ科)

絶滅危惧 I A類 (CR)

Loxogramme duclouxii Christ

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 現川町
県内 ; 東彼杵町、大村市、対馬市

摘要

谷の湿った岩上や樹上に着生する小型のシダで、葉身は倒披針形、先端は尖る。長さ15~30cm、イワヤナギシダと似ているが、それよりも大きく、葉柄は光沢のある黒褐色となる。



蓑田 清隆氏 写真提供

タキミシダ (ウラボシ科)

絶滅危惧 I A類 (CR)

Anthrophyum obovatum Baker

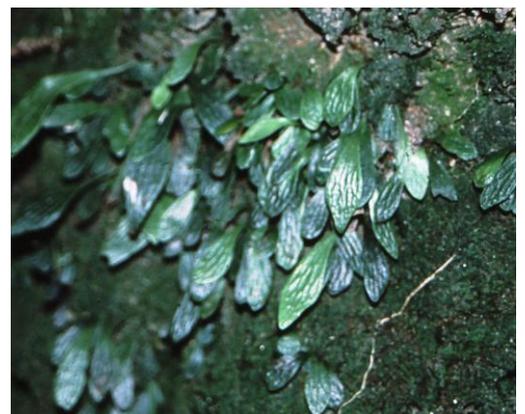
長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I A類 (CR)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)

分布

市内 ; 旧長崎市南部
県内 ; 東彼杵町、大村市、西海市 (絶滅)

摘要

湿った岩上に生育する小型のシダで、根茎は短く、葉は叢生する。葉身は単葉で、長さ数~10cm、倒卵形で先端はやや尖る。基部はしだいに細くなる。西海市の生育地は道路工事のために、消滅した。



(3) - ① 植物 (シダ植物)

デンジソウ (デンジソウ科)

絶滅危惧 I A類 (CR)

Marsilea quadrifolia L.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 旧外海町
県内 ; 対馬市、諫早市など

摘要

水田や湿地に生育する夏緑性の水生シダで、根茎は長く這い、所々に葉をつける。小葉は4枚で、和名は、この形が田の字に見えることにちなむ。除草剤の影響で少なくなった。



アカウキクサ (アカウキクサ科)

絶滅危惧 I A類 (CR)

Azolla imbricata (Roxb. ex Griff.) Nakai

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 旧琴海町
県内 ; 佐世保市、西海市、大村市、川棚町

摘要

沼沢地に浮かぶ水生の小型のシダで、赤味を帯び、特に冬には赤紫色に紅葉する。植物体は長さ1.5cmぐらいで、円みをおびた三角形。除草剤の影響で少なくなった。

情報収集中

オオバシナミズニラ (ミズニラ科)

絶滅危惧 I A類 (CR)

Isoetes sinensis Palmer var. *coreana* (Y.H. Chung & H.K. Choi) M. Takamiya, Mitsu, Watana. & K. Ono

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I A類 (CR)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)

分布

市内 ; 相川町
県内 ;

摘要

山地の湿地や放棄水田などに生育する水生シダで、これまでシナミズニラと混同されてきたが、孢子の形態などからシナミズニラの変種とされたものである。



ハマハナヤスリ (ハナワラビ科)

絶滅危惧 I A類 (CR)

Ophioglossum thermale Komarov

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)
環境省カテゴリー ;

分布

市内 ; 牧島町
県内 ;

摘要

日当たりのよい草地に生育する夏緑性の小型のシダで、1~数枚の葉を叢生する。葉は高さ10cm前後で、栄養葉は長さ2~3cm、線形~卵形、先端はやや尖るか円頭となる。



マツバラン (マツバラン科)

絶滅危惧 I B類(EN)

Psilotum undum (L.) P. Beauv.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)
環境省カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)

分布

市内 ; 長崎市内にまれ
県内 ; 各地にまれ

摘要

高さ10~25cmの常緑のシダで、岩上や樹上にまれに育成する。世界の暖温帯から熱帯まで広く分布し、日本では東北以南の各地に生育しているが、少ない。江戸時代から栽培され、園芸化されている。



ツルホラゴケ (コケシノブ科)

絶滅危惧 I B類(EN)

Crepidomanes auriculatum (Bl.) K. Iwats.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧琴海町各地、岩屋山、大山町
県内 ; 県南部にまれ

摘要

高さ10~20cmの常緑のシダで、長い根茎が岩や木の幹を這いあがる。紀伊半島以西の本州、四国、九州、琉球列島に見られ、旧熱帯地域に広く分布する。減少の原因としては開発、森林の伐採があげられる。



エビガラシダ (ホウライシダ科)

絶滅危惧 I B類(EN)

Cheilanthes chusana Hook.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)
環境省カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)

分布

市内 ; 川平町、上戸町、鳴滝町、木場町、現川町
県内 ; 島原市、大村市、川棚町、西海市、壱岐市

摘要

高さ20~25cmの常緑のシダで、石垣の間や岩上に生育する。和歌山県、岡山県、広島県と四国、九州に見られ、朝鮮、中国、フィリピン、インドシナに分布する。減少の原因として開発、耕地整理などにより古い石垣が破壊されることがあげられる。



シノブ (シノブ科)

絶滅危惧 I B類(EN)

Davallia mariesii Moore ex Baker

長崎県カテゴリー ; —
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧長崎市
県内 ; 各地まれ

摘要

根茎は太く、灰褐色の鱗片によって密に被われている。樹幹や岩上を這い、所々から葉を出す。葉は三角形または長い五角形、3~4回羽状に細かく切れ込む。減少の原因として森林の伐採、開発、採取などがある。



(3) - ① 植物 (シダ植物)

ミサキカグマ (オシダ科)

絶滅危惧 I B類(EN)

Dryopteris chinensis (Bak.) Koidz.

長崎県カテゴリー ; —
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 悪所岳
県内 ; 対馬市

摘要

山地に生育する夏緑性のやや小型のシダで、葉身は五角形を帯びる広卵形で、3回羽状複葉である。



ツクシオオクジャク (オシダ科)

絶滅危惧 I B類(EN)

Dryopteris handeliana C. Chr.

長崎県カテゴリー ; —
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧長崎市南部
県内 ;

摘要

湿った林床に生育する常緑のシダで、葉を多数叢生し、周囲に広がる。基部鱗片はやや薄い茶色。葉身は倒披針形で、羽片は20~30対である。



ヒメハシゴシダ (ヒメシダ科)

絶滅危惧 I B類(EN)

Thelypteris cystopteroides (Eaton) Ching

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧長崎市南部
県内 ; 西海市、五島市、平戸市など

摘要

林縁部や山地の路傍に生育する常緑の小型のシダで、根茎は細く、長く這う。葉は長さ数~8cm、基部には黒褐色の鱗片がある。乾いた所にも、時にはコケと一緒に湿った場所にも生育する。



蓑田 清隆氏 写真提供

イワヤナギシダ (ウラボシ科)

絶滅危惧 I B類(EN)

Loxogramme salicifolia (Makino) Makino

長崎県カテゴリー ; —
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 岩屋山、旧外海町など
県内 ; 各地にやや少ない

摘要

谷の湿った岩壁や樹幹に着生する常緑の小型のシダで、根茎は長く這い群生する。葉身は狭倒披針形で、全縁の先は尖る。基部はしだいに細くなり、葉柄の翼となる。



コウラボシ (ウラボシ科)

絶滅危惧 I B類(EN)

Lepisorus uchiyamae (Makino) H. Ito

長崎県カテゴリー ; —
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧三和町、式見町
県内 ; 五島市、佐世保市

摘要

海岸近くの岩上に生育する常緑の小型のシダで、根茎は這う。葉は狭披針形で、長さ約5cm、先端はやや尖る。質はやや厚く、緑色～深緑色である。



オオアカウキクサ (アカウキクサ科)

絶滅危惧 I B類(EN)

Azolla japonica Franch. et Savat.

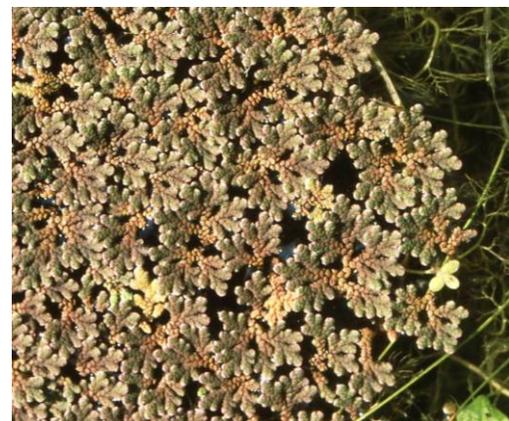
長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 旧琴海町
県内 ; 西海市

摘要

水田や池沼に浮かぶ水生の小型のシダで、アカウキクサに似ているが、やや大きく、植物体の形も三角状とならない。秋期に紅葉するが紅色となり、冬には枯れる。最近になってオオアカウキクサ類の外来種が侵入していることがわかり、区別が難しい。



ヒモズル (ヒカゲノカズラ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Lycopodium casuarinoides Spring

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 悪所岳、旧琴海町
県内 ; 西海市

摘要

つる状に他の樹木にからまってよじ登るつる植物で、疎林や明るい林の縁に生育する。ヒカゲノカズラに似ているが、それよりも茎は細く、全体に柔らかい。西彼杵半島東部は全国でもヒモズルが最も多く生育している地域である。



シロヤマゼンマイ (ゼンマイ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Osmunda banksiifolia (Pr.) Kuhn

長崎県カテゴリー ; —
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 虹が丘町、多以良町、茂木町、平山町など
県内 ; 中・南部に分布し、少ない。

摘要

高さ1mぐらいになる常緑のシダで、崖地下部や傾斜地に生育する。葉は1回羽状に分裂し、質は硬く、光沢があり、長さ30～100cmで斜上または先端がやや垂れ下がる。減少の原因は森林の伐採、開発があげられる。



(3) - ① 植物 (シダ植物)

ヤマドリゼンマイ (ゼンマイ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Osmunda cinnamomea L. var. *fokiensis* Copel.

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 矢筈岳、旧琴海町
県内 ; 対馬市、福江島、県本土に少ない

摘要

高さ50~70cmの夏緑性のシダ植物で、北東アジアに分布し、日本では北海道から九州まで広く見られるが、九州ではまれとなる。減少の原因として湿地の埋め立て、開発があげられる。



ヒメウラジロ (ホウライシダ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Cheilanthes argentea (Gmel.) Kunze

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 旧長崎市には比較的多い
県内 ; 本土側各地と壱岐市に少ない

摘要

高さ約10cmの常緑のシダで、石垣の間などに生育する。東北部、関東地方以西の本州、四国、九州、琉球列島に見られ、東アジア、インド北部などに広く分布する。長崎市では、しばしば古い民家の屋根のしっくいに生育しているが、それらの家が壊され、少なくなっている。



ハマホラシノブ (イノモトソウ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Sphenomeris biflora (Kaulf.) Tagawa

長崎県カテゴリー ; —
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 式見町、太田尾町、野母町
県内 ; 各地の海岸にまれ

摘要

海岸の崖地に群生するやや小型のシダで、ホラシノブに似ているが、小羽片の裂片は幅広く、葉質は厚味がある。



テツホシダ (オシダ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Thelypteris interrupta (Willd.) K. Iwats.

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧三和町、旧琴海町
県内 ; 平戸市、五島市、西海市など

摘要

海岸近くの低湿地に生育する夏緑性のシダで、根茎が伸びて繁殖するので、群生している。葉身は長さ数10cm、鮮緑色で、やや光沢があり、柔らかい革質である。



イワイタチシダ (オシダ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Dryopteris saxifraga H. Ito

長崎県カテゴリー ; —
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 大山町
県内 ; 雲仙市、対馬市

摘要

山地のやや乾いた崖地に生育する中型のシダで、ヤマイタチシダに似ているが、それよりは小型で、葉身は披針形、葉質はやや厚い。また、鱗片が屈曲していることが特徴である。



ツクシイワヘゴ (オシダ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Dryopteris commixta Tagawa

長崎県カテゴリー ; —
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 各地まれ
県内 ; 五島市、西海市

摘要

山地の谷あいの林床に生育する常緑のシダで、イワヘゴに似ているが、羽片の数が20対以下と少なく、葉質はやや厚ぼったい草質である。基部鱗片は光沢がなく、黒褐色である。



ナチクジャク (オシダ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Dryopteris decipiens (Hook.) O. Ktze.

長崎県カテゴリー ; —
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧外海町、戸町岳
県内 ; 大村市、対馬市、五島市など

摘要

照葉樹林内や林縁部に生育し、ふつう近くに数株が生えている場合が多い。葉は数枚が根生し、葉身は皮針形、1回羽状複葉で、羽片は12~15対である。葉質は革質で、鮮緑色で光沢がある。



シモツケヌリトラノオ (チャセンシダ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Asplenium normale D. Don var. *boreale* Ohwi ex Kurata

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 相川町、大山町
県内 ;

摘要

ヌリトラノオに似ているが、葉軸は長く伸び、無性芽がなく、葉片が幅広く、先端は丸味を帯びることなどによって区別できる。また、ヌリトラノオよりもやや乾燥した崖地に生育する。



(3) - ① 植物 (シダ植物)

イヌチャセンシダ (チャセンシダ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Asplenium tripteropus Nakai

長崎県カテゴリー ; —
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧琴海町その他
県内 ; 各地まれ

摘要

チャセンシダと似ているが、葉軸に3枚の翼があることが特徴である。また、より自然度の高い湿った谷の岩壁に着生する。葉軸にはしばしば無性芽ができる。



トキワトラノオ (チャセンシダ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Asplenium pekinense Hance

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧長崎市
県内 ; 各地

摘要

日当たりのよい石垣や岩上に生育する常緑の小型のシダで、コバノヒノキシダに似ているが、葉質は厚く、深緑色で、やや光沢がある。鱗片は褐色で広披針形、背面に毛があることが特徴である。



ヤノネシダ (ウラボシ科)

情報不足(DD)

Neocheiropteris subhastata (Bak.) Tagawa

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I A 類 (CR)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧長崎市
県内 ; 対馬市、大村市、東彼杵町

摘要

湿った林下や岩上に生育する常緑の小型のシダで、根茎は長く這い、葉を所々につける。葉は長さ10cm前後で、三角形からほこ形など変異が大きい。葉質はやや厚く、網状脈である。長崎市では茂木町、大山町で記録があるが、最近では確認されていない。



ヒロハマツナ (アカザ科)

絶 滅(EX)

Suaeda malacosperma Hara

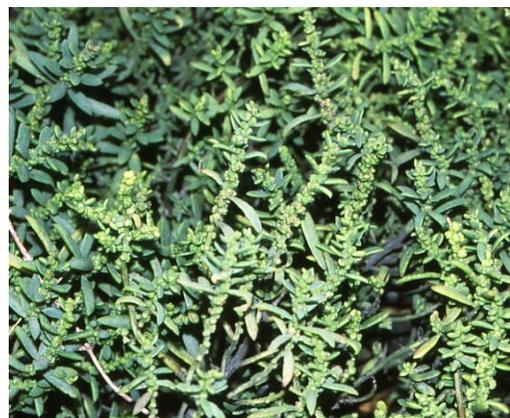
長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 旧長崎市南部
県内 ; 対馬市、五島列島、佐世保市

摘要

塩性湿地に生育する一年草。ハママツナに似ているが、葉は幅が広く広線形、花被が星型になる。長崎市内では鹿尾川下流の磯道町に生育していたが、長崎大水害によって消滅した。



ジンジソウ (ユキノシタ科)

絶 滅(EX)

Saxifraga cortusaefolia Sieb. et Zucc.

長崎県カテゴリー ; —
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 畦別当町
県内 ; 雲仙山系、多良山系

摘要

山地の湿った岩壁や谷間の岩場に生育し、長崎市のような低地に見られるのは珍しい。葉は根生し、やや厚く、腎臓形で掌状に浅裂する。晩秋に15~30cmの円錐花序を出し、白色の花を多く咲かせる。



ツクシアオイ (ウマノスズクサ科)

絶滅危惧 I A類(CR)

Heterotropa kiusiana (F. Maek.) F. Maek.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 旧長崎市
県内 ; 雲仙山系、多良山系、佐世保市

摘要

林床に生育する小型の多年草。葉は長楕円形で、基部は心形あるいはほこ形。根元から葉柄で周囲に広がる。春に根元近くに筒形で径2cmあまりの淡紫色の花を咲かせる。



蓑田 清隆氏 写真提供

タチハコベ (ナデシコ科)

絶滅危惧 I A類(CR)

Moehringia trinervia (L.) Clairv.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 千々町、野母崎樺島町
県内 ; 西海市、平戸市、多良山系

摘要

石垣や岩上などに生育する小型の草本。葉は卵形で、先は尖る。基部はくさび形で3本の脈が目立つ。春から夏にかけて小さな白色の花を咲かせる。



(3) - ② 植物 (離弁花)

オキナグサ (キンポウゲ科)

絶滅危惧 I A類 (CR)

Pulsatilla cernua (Thunb.) Sprengel

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I A類 (CR)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 旧長崎市
県内 ; 諫早市、雲仙市

摘要

長崎市内では小八郎岳と岩屋山などに記録されているが、今ではほとんど見られなくなった。植物体全体に長い白毛が密生している。花は4月、鐘形で花弁はなく、がく片の内側に暗赤色をしているので、花弁のように見える。



ハマビシ (ハマビシ科)

絶滅危惧 I A類 (CR)

Tribulus terrestris L.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I A類 (CR)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)

分布

市内 ; 脇岬町
県内 ;

摘要

安定した海浜に生育する多年草。茎は匍匐 (ほふく) し、周囲に広がる。葉は複葉で、6~7対の小葉よりなる。夏から秋に黄色の花を葉腋につける。果実は10本の太いトゲがある。



ニワフジ (マメ科)

絶滅危惧 I A類 (CR)

Indigofera decora Lindl.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I A類 (CR)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 稲佐山
県内 ;

摘要

葉は互生し、奇数羽状複葉で、小葉は長楕円形、9~13対ある。6月に葉腋から長さ10~18cmの総状花序を出し、桃色の美しい花を咲かせる。減少の原因として森林の伐採、ハイカーの踏みつけなどがある。



イヌハギ (マメ科)

絶滅危惧 I A類 (CR)

Lespedeza tomentosa (Thunb.) Sieb. ex Maxim.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)
環境省カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)

分布

市内 ; 甌岩
県内 ; 各地まれ

摘要

葉は互生し、3出複葉で、小葉は長楕円形、有毛である。葉柄や茎には褐色の毛が生えている。夏に葉腋から総状花序を出し、白色の花を多く咲かせる。減少の原因として開発、草原の放棄があげられる。



タチバナ (ミカン科)

絶滅危惧 I A類(CR)

Citrus tachibana (Makino) Tanaka

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 野母町
県内 ; 各地まれ

摘要

照葉樹林内に生育する常緑の亜高木。葉は濃緑色で、光沢があり、卵状長楕円形、先端は鈍頭かすこしへこむ。果実は偏球形で、径2.5~3cm、熟すと黄色になる。



ヒツバハギ (トウダイグサ科)

絶滅危惧 I A類(CR)

Securinega suffruticosa (Pallas) Rehder var. *japonica* (Miq.) Hurusawa

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 野母町、高浜町
県内 ; 平戸市

摘要

日当たりのよい草地や林縁部などに生育する落葉低木。多く分枝し、全縁で長楕円形を互生する。無毛で、裏面は葉脈が突出し、白色を帯びる。果実は突然烈開し、種子を自動散布する。

情報収集中

アオカズラ (アワブキ科)

絶滅危惧 I A類(CR)

Sabia japonica Maxim.

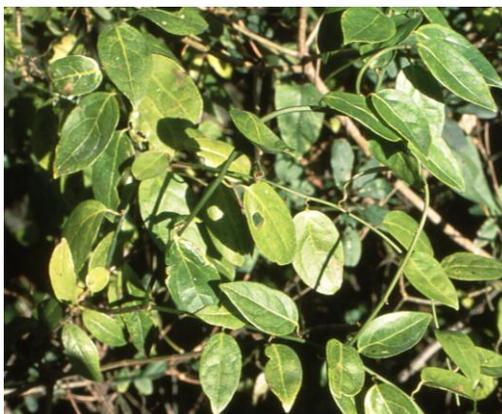
長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)

分布

市内 ; 旧長崎市
県内 ; 島原市、雲仙市、旧森山町

摘要

落葉性の木本つる植物。枝が緑色をしていることから名がつけられた。葉は互生、ややまばらにつける。卵状長楕円形で全縁が深緑色でやや光沢がある。果実はゆがんだ偏球形、熟すと青色になる。



ケンポナシ (クロウメドキ科)

絶滅危惧 I A類(CR)

Hovenia dulcis Thunb.

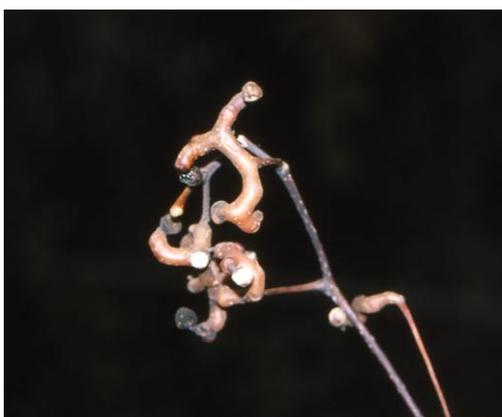
長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 岩屋山、矢上町
県内 ; 諫早市、対馬市

摘要

落葉高木で、大きいものは高さ20mを越える。葉は広卵形で粗い鋸歯がある。果実は球形で径約7mm、紫褐色の果実をつける枝は肥厚し、肉質となり食べられる。



(3) - ② 植物 (離弁花)

ハマナツメ (クロウメモドキ科)

絶滅危惧 I A類(CR)

Paliurus ramosissims (Lour.) Poiret

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)

環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 旧三和町、牧島町

県内 ; 五島市

摘要

海岸に生育し、特に海跡湖岸に多く、しばしば群生する。葉は互生し、卵形で先端はへこみ、縁は細かい鋸歯がある。葉表は緑色で光沢がある。若い枝には鋭いトゲがある。



ヒメノボタン (ノボタン科)

絶滅危惧 I A類(CR)

Osbeckia chinensis L.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I A類 (CR)

環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 市民の森、旧琴海町

県内 ; 佐世保市

摘要

茎は直立し、角ばる。葉は対生で、皮針形、長さ2~6cm。9月頃、枝先に径約3cmの紅紫色の花を咲かせる。減少の原因として開発、草原の放置による自然遷移などがあげられる。



アケボノアオイ (ウマノスズクサ科)

絶滅危惧 I B類(EN)

Heterotropa kiusiana (F. Maek.) F. Maek. var. *tubulosa* F. Maek.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 各地の山地の林床にまれ

県内 ; 諫早市、大村市、西彼杵半島など

摘要

茎は短く節があり、地中を少し這う。葉は1~数枚が根際から出て、長楕円形で長さ約10cm、柄は長い。花は5月頃、径2~2.5cm、花被片は3枚で花筒より長い。減少の原因として森林の伐採、開発がある。



シマヒメタデ (タデ科)

絶滅危惧 I B類(EN)

Persicaria tenella (Blume) H. Hara

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)

環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 松崎町

県内 ; 佐世保市

摘要

茎は下部でほふくして多く枝分かかれし、上部は斜めに立ち上がる。葉は線状針皮形で、裏面の脈に沿って毛が生えている。秋に茎の先端に淡紅色の穂をやや密につける。ヒメタデに似ているが、果実がレンズ形である。



モウセンゴケ (モウセンゴケ科)

絶滅危惧 I B類 (EN)

Drosera rotundifolia L.

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 烽火山
県内 ; 西海市、雲仙市、諫早市

摘要

湿地に生育する小型の食虫植物。根元から周囲に長い葉柄のあるさじ状の葉を広げる。表面には腺毛が生えている。初夏に花茎を伸ばし、多くの白色の花を咲かせる。



ツシマンネングサ (ベンケイソウ科)

絶滅危惧 I B類 (EN)

Sedum polytrichoides Hemsl.

長崎県カテゴリー ; —
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧長崎市
県内 ; 平戸市、五島市、対馬市

摘要

山地の岩上に生育する小型の多年草。葉は線形で鋭先端、赤褐色を帯び密生する。初夏に茎の先端に黄色の花を咲かせる。ウンゼンマンネングサ、ツクシマンネングサなどと同種と考えられている。



ツクシネコノメソウ (ユキシタ科)

絶滅危惧 I B類 (EN)

Chrysosplenium rhabdospermum Maxim.

長崎県カテゴリー ; —
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 大山町
県内 ; 雲仙山系、多良山系

摘要

山地の沢沿いに生育する小型の多年草。葉は円形または円腎形で、長さ1cm以下、縁には鋸歯がある。3月頃、花茎を伸ばし、淡緑色の小さな花を咲かせる。



コウライトモエソウ (オトギリソウ科)

絶滅危惧 I B類 (EN)

Hypericum ascyron var. *longistylum* Maxim.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 八郎岳、岩屋山、彦山など
県内 ; 県内各地まれ

摘要

高さ60~100cmの多年生草本で、葉は対生で、皮針形、長さ5~10cm、幅1~3cm、基部はわずかに茎を抱く。夏に枝の頂部に黄色の大きな花を咲かせる。



(3) - ② 植物 (離弁花)

ツキヌキオトギリ (オトギリソウ科)

絶滅危惧 I B類 (EN)

Hypericum sampsoni Hance

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)

分布

市内 ; 八郎岳周辺
県内 ; 多良山系、平戸市

摘要

林縁部に生育する多年草。葉は卵状長楕円形で、対生する葉が基部で合着している。和名は茎が合着した葉の間をつらぬいていることによる。初夏に黄色のやや小さな花を多数咲かせる。



ウスゲチョウジタデ (アカバナ科)

絶滅危惧 I B類 (EN)

Ludwigia greatrexii Hara

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 相川町
県内 ; 各地まれ

摘要

水田や湿地に生育する一年草。チョウジタデに似ているが、全体にやや大きく、葉や茎、果実に細毛が生えている。



アラゲサンショウソウ (イラクサ科)

絶滅危惧 I B類 (EN)

Pellionia brevifolia Benth.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 旧琴海町
県内 ;

摘要

県内では唯一狭い範囲にいくつかの生育地がある。サンショウソウに似ているが、葉には長毛があり、光沢がない。一般には白斑があることで知られているが、県内に生育しているものは白斑がない。



ヒメハマナデシコ (ナデシコ科)

絶滅危惧 II 類 (VU)

Dianthus kiusianus Makino

長崎県カテゴリー ; —
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 長崎市南部
県内 ; 県南海岸まれ

摘要

海岸の岩上に生育する多年草。ハマナデシコに似ているが、全体に小さく、葉もやや細い。初夏に紅紫色の花を咲かせるが、ハマナデシコのように密生した集散花序をつくらず、ややまばらに咲く。



ミヤコジマツツラフジ (ツツラフジ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Paracyclea insularis (Makino) Kudo et Yamamoto

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)

環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 野母町、香焼町

県内 ; 県南各地まれ

摘要

海岸近くの林縁部に生育する木生のつる植物。葉柄は楕状に着くが、ハスノハカズラに比べて縁寄りに着く。



シマキケマン (ケシ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Corydalis tashiroi Makno

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧長崎市まれ

県内 ; 時津町、長与町

摘要

海岸近くに生育する越年草。葉は粉白色をした緑色で、キケマンよりも小さい。花は4月、淡黄色で果実はまっすぐな線形であることが特徴である。



ツメレンゲ (ベンケイソウ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Orostachys japonicus (Maxim.) Berger

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)

環境省カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)

分布

市内 ; 三重町

県内 ; 各地まれ

摘要

葉は多肉質で、先端が尖った細いへら形で、多数かさなっている。秋に総状花序を延ばし、白色の小さな花を多数咲かせる。減少の原因として海岸の開発などがあげられる。



ハマボウ (アオイ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Hibiscus hamabo Sieb. et Zucc.

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)

環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧三和町、牧島町

県内 ; 各地少ない

摘要

茎は灰褐色で若い時には毛が生えている。葉は円形で、先端は急に尖る。両面に星状毛があり、葉裏は灰白色に見える。花は6~7月、ロウト状の径約5cmの黄色の美しい花を咲かせるが、1日でしぼむ。



(3) - ② 植物 (離弁花)

ツクシスミレ (スミレ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Viola diffusa Gingins var. *glabella* H. Boiss.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧長崎市南部
県内 ;

摘要

小型の多年生草本で鹿児島県、熊本県、長崎県に分布する。長崎県では長崎市南部のみに見られ、林床や林縁部に生育する。葉はへら状で、質は柔らかく、基部は翼状となり、葉柄につながる。花は薄桃色で小さい。花後にほふく茎が伸長し、繁殖する。他のスミレとはかなり異なる形態的特徴をもつ。



ヒメミソハギ (ミソハギ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Ammannia multiflora Roxb.

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧外海町、旧琴海町
県内 ; 各地少ない

摘要

水田などの湿地に生育する一年草。全株無毛、やや光沢がある。葉は対生で、柄はなく、広線形、先端は尖る。秋に葉腋に多くの小さい淡紫色の花を咲かせる。



蓑田 清隆氏 写真提供

ハナイカダ (ミズキ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Helwingia japonica (Thunb.) F. G. Dietrich

長崎県カテゴリー ; —
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 畦別当
県内 ; 雲仙山系、多良山系、壱岐市、対馬市など

摘要

葉は互生し、倒卵形、縁にはのぎ状鋸歯がある。質は柔らかく、濃緑色で光沢がある。花は葉の主脈上に緑色の小さな花を数個咲かせる。果実は球形で黒紫色に熟す。



ハマボウフウ (セリ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Glehnia littoralis Fr. Schm. ex Miq.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 長崎市南部
県内 ; 各地の海浜に少ない

摘要

海浜に生育する多年草。茎は白色多毛で短く、羽状複葉の葉を周囲に広げる。葉は光沢があり、やや厚く鋸歯がある。



タンナヤブマオ (イラクサ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Boehmeria quelpaertensis Satake

長崎県カテゴリー ; —
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 野母崎樺島町
県内 ;

摘要

ヤブマオとニオウヤブマオの中間的な形態をしている。ヤブマオの仲間は分類が難しく、県内では詳しく調べられていない。



ギョボク (フウチョウソウ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Crataeva religiosa G. Forst.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 野母町権現山
県内 ;

摘要

亜熱帯性の落葉低木。葉は3出の掌状複葉、小葉は楕円形または長楕円形で、先端は尖る。これまで宮崎県南部まで知られていたが、旧野母崎町で発見された。



マツモ (マツモ科)

準絶滅危惧(NT)

Ceratophyllum demersum L.

長崎県カテゴリー ; —
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧琴海町
県内 ; 各地少ない

摘要

池などに生育する水生植物。茎は長いもので数10cmで分枝する。葉は輪生し細い裂片からなる。果実には長いトゲがある。



ハンゲショウ (ドクダミ科)

準絶滅危惧(NT)

Saururus chinensis (Lour.) Baill.

長崎県カテゴリー ; —
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 野母崎樺島町、旧外海町
県内 ; 各地少ない

摘要

植物体全体に臭気がある。葉は互生で、長卵形または楕円形で長さ6~15cm、表面は淡緑色で無毛、上部の葉は夏に白色となる。葉腋から総状花序を出し目立たない小さな花を多数咲かせる。



(3) - ② 植物 (離弁花)

コイヌガラシ (アブラナ科)

準絶滅危惧(NT)

Rorippa cantoniensis (Lour.) Ohwi

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)

分布

市内 ; 旧長崎市
県内 ; 大村市、諫早市、雲仙市

摘要

池の周囲など湿地に生育する一年草。葉は羽状に深く切れ込む。春に総状花序を伸ばし、黄色の小さな花を咲かせる。果実は長楕円形であるのが特徴である。



コモウセンゴケ (モウセンゴケ科)

準絶滅危惧(NT)

Drosera spathulata Labill.

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧琴海町
県内 ; 西彼杵半島、川棚町、吉井町

摘要

日当たりの良い崖地や裸地に生育する小型の多年草。さじ状の根生葉を株の周囲に広げ円形となる。葉の表面には赤色の腺毛を密生させる。初夏に総状花序を伸ばし、淡紅色の花を咲かせる。



バイカアマチャ (ユキノシタ科)

準絶滅危惧(NT)

Platycrater arguta Sieb. et Zucc.

長崎県カテゴリー ; —
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 稲佐山
県内 ; 多良山系

摘要

葉は対生で長楕円形、先は尾状に伸びる。縁には鋭い鋸歯がある。夏に茎の先端に集散花序を出し、まばらに花をつける。外側の花は顎(がく)がくっつき、直径1~2.5cmの盾状となる。



ハカマズラ (マメ科)

準絶滅危惧(NT)

Bauhinia japonica Maxim.

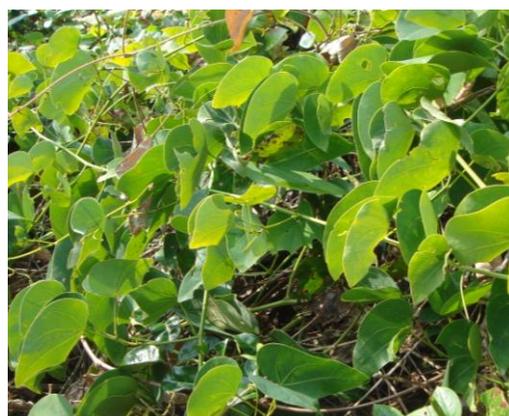
長崎県カテゴリー ; —
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 島嶼部
県内 ; 県南島嶼部

摘要

常緑の木本つる植物。海岸近くの林に生育し、他の樹木を被っている。葉は革質、長卵形、長さ6~10cm、先端から大きく切れ込んでいる。5月頃、淡黄色の花を咲かせる。



ウドカズラ (ブドウ科)

準絶滅危惧(NT)

Ampelopsis leeooides (Maxim.) Planch.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 岩屋山、多以良町、旧外海町

県内 ; 西海市、五島市、大村市

摘要

落葉の木性つる植物。葉は2~4対の羽状複葉。小葉は鋸歯があり、卵形から長楕円形、先端は尖る。初夏に大型の花序を出し、小さい黄緑色の花を咲かせる。



クロフネサイシン (ウマノスズクサ科)

情報不足(DD)

Asiasarum dimidiatum (F. Maek.) F. Maek.

長崎県カテゴリー ; 情報不足 (DD)

環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ;

県内 ;

摘要

山地の林床に生育する多年草。葉は短い茎に2枚着き、やや角張った卵心形、先端はやや急に尖る。春に茎の先端に径1~1.5cmの淡紅紫色の花を1個咲かせる。近年は長崎県内で確認されていない。



情報収集中

ヤナギヌカボ (タデ科)

情報不足(DD)

Persicaria foliosa (H. Lindb.) Kitag. var. *paludicola* (Makino) Hara

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)

環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 旧長崎市

県内 ; 西海市、大村市、諫早市

摘要

溜め池の縁などの湿地に生育する一年草。葉は線形から披針形、裏面には腺点があるのが特徴である。秋に総状花序を出し、やや密に花をつける。近年は確認されていない。



情報収集中

イソヤマアオキ (ツツラフジ科)

情報不足(DD)

Cocculus laurifolius DC.

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)

環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 深堀町、香焼町

県内 ; 五島列島南部、平戸市

摘要

照葉樹林内に生育する常緑低木。葉は互生、革質で長楕円状披針形から倒卵形、3行脈がはっきりし濃緑色で光沢がある。近年は確認されていない。



(3) - ② 植物 (離弁花)

コクテンギ (ニシキギ科)

情報不足(DD)

Euonymus tanakae Maxim.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 矢上町
県内 ; 五島市 (黄島)

摘要

林縁部や疎林中に生育する常緑の大木あるいは亜高木。若い枝は緑色をし断面は円い。葉は倒卵形で長さ10cmほど、基部はくさび形、縁は低い細鋸歯がある。近年は確認されていない。

情報収集中

ツクシシャクナゲ (ツツジ科) **絶滅危惧 I A類(CR)**

Rhododendron degronianum Carriere subsp. *heptamerum* (Maxim.) Hara

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)

環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧琴海町、旧外海町

県内 ; 多良山系、西彼杵半島

摘要

山地に生育する常緑低木。葉は革質、長楕円形、葉柄には黄褐色の毛が密生する。5月頃、枝先に総状花序を出し、紅紫色の美しい花を咲かせる。



ホタルカズラ (ムラサキ科) **絶滅危惧 I A類(CR)**

Lithospermum zollingeri DC.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧長崎市南部

県内 ; 大村市、小佐々町、平戸市、壱岐市、対馬市など

摘要

林縁部や草地に生育する。葉は互生し狭長楕円形で鋸歯はなく、両面に粗い毛がある。花は4~5月、茎の上部に青紫色、のち紅紫色になる美しい花を1~4個咲かせる。



コナミキ (シソ科) **絶滅危惧 I A類(CR)**

Scutellaria guilielmi A. Gray

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)

環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 式見町

県内 ; 島原市、大村市、壱岐市など

摘要

茎は下部で枝分かれし直立する。葉は対生で広卵形、長さ1~2cm先端は丸く、基部は心形、縁には円い鋸歯がある。5月頃、茎の上部の葉腋に小さな白色の唇形花を1対ずつ咲かせる。



イヌゴマ (シソ科) **絶滅危惧 I A類(CR)**

Stachys riederi Cham. var. *intermedia* (Kudo) Kitam.

長崎県カテゴリー ; —

環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧琴海町

県内 ;

摘要

草地に生育する多年草。茎は四角で、縁には逆トゲがある。葉の裏面の主脈にも刺があり、ざらつく。夏に茎の先端に淡紅色の唇形花を多数咲かせる。



(3) — ③ 植物 (合弁花)

ホソバヒメトラノオ (ゴマノハグサ科) 絶滅危惧 I A類 (CR)

Pseudolysimachion linariifolium (Pallas) Yamazaki

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧長崎市西部・南部
県内 ; 各地に少ない

摘要

葉が互生または対生し長楕円形で長さ3~6cm、幅0.5~1.5cm、先端は尖る。基部は狭くなって柄に続く。縁には尖った鋸歯がある。9月頃、茎の先端に総状花序を伸ばし、青紫色の花を多数咲かせる。



ハマウツボ (ハマウツボ科) 絶滅危惧 I A類 (CR)

Orobanche coerulescens Stephan

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 三重町、岩屋山
県内 ; 加津佐町、宇久島、壱岐

摘要

茎は太い円柱形で直立し枝分かれしない。歯は鱗片状に茎にまばらに着き、茎とともに葉緑素がないので黄褐色をしている。5月頃、茎の先端が花序となり、淡紫色の唇形花を多数咲かせる。



蓑田 清隆氏 写真提供

イトタヌキモ (ミカワタヌキモ) (タヌキモ科) 絶滅危惧 I A類 (CR)

Utricularia exoleta R.Br.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II類 (VU)
環境省カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)

分布

市内 ; 旧琴海町
県内 ; 西海市、大村市

摘要

池沼や湿地に生育する繊細な食虫植物で、植物体は泥上を匍匐する。夏に高さ10cm以下の細い花茎を伸ばし、長さ5~6mmの黄色の花を咲かせる。



ミミカキグサ (タヌキモ科) 絶滅危惧 I A類 (CR)

Utricularia bifida L.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 本河内町、旧琴海町
県内 ; 各地まれ

摘要

湿地に生育する小型の多年草。茎は土中を這い、地上に長さ6~8mmの線形の葉を出す。初秋に高さ10cmほどの花茎を伸ばし、黄色の花を数個つける。



ムラサキミカキグサ (タヌキモ科) **絶滅危惧 I A類(CR)**

Utricularia yakusimensis Masam.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)
環境省カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)

分布

市内 ; 旧琴海町
県内 ; 諫早市、五島市

摘要

湿地に生育する小型の多年草。茎は土中を這い、地上に長さ5mmほどのへら形の葉を出す。初秋に高さ10cmほどの花茎を伸ばし、紫色の花を数個咲かせる。



コバンムグラ (アカネ科) **絶滅危惧 I A類(CR)**

Hedyotis chrysostricha (Palib.) Merrill

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I A類 (CR)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)

分布

市内 ; 旧長崎市南部
県内 ;

摘要

山道の路傍に生育する小型の多年草。茎は匍匐(ほふく)し、長さ数10cm以上に伸びる。葉は楕円形で先端は尖る。和名はこの葉の形を小判に見立てたものである。夏に淡青色の小さな花を葉腋につける。



キキョウ (キキョウ科) **絶滅危惧 I A類(CR)**

Platycodon grandiflorum (Jacq.) A. DC.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 旧長崎市南部
県内 ; 対馬、壱岐など

摘要

葉は互生し、長卵形、へりには鋭い鋸歯がある。葉表は濃緑色であるが、葉裏は白味を帯びる。葉や茎をちぎると白乳色の汁がでる。8月に茎の先端に青紫色の花を咲かせる。花は美しいので庭園に栽培される。



タカサゴソウ (キク科) **絶滅危惧 I A類(CR)**

Ixeris chinensis (Thunb.) Nakai subsp. *strigosa* (L'ev. et Vant.) Kitam.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 長崎市南部など
県内 ; 各地の山地にまれ

摘要

葉は根生し、皮針形で長さ8~20cm、羽状に浅裂する。花は4月、白色で淡紫色の縁どりがある。減少の原因として、開発、草地の放置による自然遷移があげられる。



(3) - ③ 植物 (合弁花)

シャクジョウソウ (イチヤクソウ科)

絶滅危惧 I B類(EN)

Monotropa hypopitys L.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧長崎市北部
県内 ; 雲仙岳、大村市、対馬市など

摘要

林床に生育する小型の腐生植物。全体が淡黄褐色で茎は10~20cmまばらに鱗片葉をつける。夏に先端に総状花序をつけ、下向きの花を数個以上つける。



蓑田 清隆氏 写真提供

ロクオンソウ(ヒゴビヤクゼン) (ガガイモ科) 絶滅危惧 I B類(EN)

Cynanchum amplexicaule (Sieb. et Zucc.) Hemsl.

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 旧長崎市南部・北部
県内 ; 各地に少ない

摘要

葉はやや粉白を帯びた緑色で対生し、葉柄はなく茎を抱く。7~8月に茎の上部に花柄を出し、淡黄色の小さな花を多数咲かせる。生育地は草原と池畔である。



オオルリソウ (ムラサキ科)

絶滅危惧 I B類(EN)

Cynoglossum zeylanicum (Vahl) Thunb.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 千々町
県内 ; 五島市、対馬市

摘要

山地の草地にまれに生育する越年草。オニルリソウに似ているが、葉は先端も基部も尖っている。夏に長い花序を伸ばし、淡青紫色で小さな花を多数つける。



蓑田 清隆氏 写真提供

イガホオズキ (ナス科)

絶滅危惧 I B類(EN)

Physalium japonicum (Franch. et Savat.) Honda

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧長崎市
県内 ; 各地の山地に少ない

摘要

山地の林縁部に生育するやや大型の多年草。葉は卵形または広卵形で先端は尖る。顎(がく)は花後、果実を包み、まばらに刺状の突起がある。和名はそれをイガにみたてたものである。



蓑田 清隆氏 写真提供

メジロホオズキ (ナス科)

絶滅危惧 I B類(EN)

Solanum biflorum Lour.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 香焼町、高銚島、脇岬町
県内 ; 五島市

摘要

亜熱帯性の植物で、県内では南部の沿岸部の林縁部に生育する。果実は光沢のある暗赤色で、顎(がく)片は10個あり、細く反転する。



サウトウガラシ (ゴマノハグサ科)

絶滅危惧 I B類(EN)

Deinostema violaceum (Maxim.) Yamazaki

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 松崎町
県内 ; 各地の湿地に少ない

摘要

湿地に生育する小型の一年草。葉は対生し線状披針形で、先端は尖る。初秋に葉腋から花柄を出し、紅紫色の小さな花をつける。



ゴマノハグサ (ゴマノハグサ科)

絶滅危惧 I B類(EN)

Scrophularia buergeriana Miq.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 岩屋山
県内 ; 各地まれ

摘要

草地や林縁部に生育する大型の多年草。茎は4稜があり硬く、高さ1mほどになる。初秋に先端に円錐花序を伸ばし、黄緑色の小さい花を多数咲かせる。



ギョクシンカ (アカネ科)

絶滅危惧 I B類(EN)

Tarenna gracilipes (Hayata) Ohwi

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 香焼町、深堀町、野母町
県内 ; 平戸市、壱岐市

摘要

照葉樹林内に生育する常緑低木。葉は長楕円形から楕円形で、先端は尖る。初夏に枝先に集散花序を出し、白色の花を咲かせる。



(3) — ③ 植物 (合弁花)

ヒナヒゴタイ (キク科)

絶滅危惧 I B類(EN)

Saussurea japonica (Thunb.) DC.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 I A類 (CR)

分布

市内 ; 長崎市南部
県内 ; 平戸市

摘要

草原に生育する多年草。葉は羽状に切れ込むか、あるいは切れ込みの全くない葉もある。初秋に枝分かれした茎の先端部に淡紅色の頭花を多くつける。



ウスベニニガナ (キク科)

絶滅危惧 I B類(EN)

Emilia sonchifolia (L.) DC.

長崎県カテゴリー ; —
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 伊王島
県内 ; 壱岐以南の各地少ない

摘要

日当たりの良い道端や裸地などに生育する一年草。下部から多く枝分かれする。葉はやや厚く、緑白色で光沢がない。茎の先端に薄紅紫色の花を春から秋にかけて咲かせる。



ホソバヤマジソ (シソ科)

絶滅危惧 I B類(EN)

Mosla chinensis Maxim.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 旧長崎市南部
県内 ; 西海市、平戸市、佐世保市

摘要

日当たりの良い草地に生育するやや小型の一年草。葉は細く、披針形で先端は尖る。秋に薄紅紫色の小さな花を咲かせる。



ハマサジ (イソマツ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Limonium tetragonum (Thunb.) Bullock

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)

分布

市内 ; 大村湾沿岸
県内 ; 各地海岸に少ない

摘要

葉は根生し、長いさじ形で、質はやや厚く、濃緑色で光沢はない。秋には総状花序を伸ばし、小さな花を多数つける。減少の原因は河川改修、沿岸の開発などである。



サカキカズラ (キョウチクトウ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Anodendron affine (Hook. et Arn.) Druce

長崎県カテゴリー ; —
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 三重町、伊王島町
県内 ; 各地少ない

摘要

常緑で木生のつる植物。葉は狭長楕円形、革質でやや光沢がある。晩春に枝先に円錐花序を伸ばし、淡黄色の花を咲かせる。



蓑田 清隆氏 写真提供

フナバラソウ (ガガイモ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Cynanchum atratum Bunge

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 矢筈岳、野々岳、甕岩、八郎岳、市民の森など
県内 ; 各地の山地の草原

摘要

茎は柔らかく、上部はややつる状に伸びる。葉は対生で、ビロード状の毛を密生し、6月ごろ黒紫色の花を葉腋に球状に咲かせる。



イヌノフグリ (ゴマノハグサ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Veronica didyma Tenore Var. *lilacina* (Hara) Yamazaki

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 旧長崎市内
県内 ; 各地まれ

摘要

かつては各地にふつうに見られたが、近年急に減少し、今では古い住宅地周辺にまれに見られるだけとなった。



イヌタヌキモ (タヌキモ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Utricularia tenuicaulis Miki

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)
環境省カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)

分布

市内 ; 旧琴海町
県内 ; 各地少ない

摘要

池に生育する水生植物で、葉は細く分裂し、捕虫囊を所々につける。夏に花茎を水上に伸ばし、先端に1cmほどの黄色の花を数個つける。



(3) - ③ 植物 (合弁花)

ヘツカニガキ (アカネ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Sinoadina racemosa (Sieb. et Zucc.) Ridsdale

長崎県カテゴリー ; —
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 浦上町、深堀町
県内 ; 西海市、諫早市

摘要

照葉樹林に生育する落葉高木。葉は互生し、広卵形で鋸歯はない。長さは10cm以上となる。表面の葉脈はよく目立つ。裏面の脈上に短毛がある。初夏に枝先に頭状花序をつけ、黄白色の小さい花を咲かせる。



イズハハコ(ワタナ) (キク科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Conyza japonica (Thunb. ex Murray) Less.

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 田手原町、宮摺町など
県内 ; 各地に少ない

摘要

山地の切通しなどに生育する多年草。果実は綿毛をもち、風で散布されるために、造成地などに先駆的に現われることがある。



ウラギク (キク科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Aster tripolium L.

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 大村湾沿岸
県内 ; 各地少ない

摘要

塩性湿地に生育するやや大型の多年草で、ふつうに群生する。葉は質が厚く無毛。晩秋に茎の先端部に多くの淡紫色の花を咲かせる。



タウコギ (キク科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Bidens tripartita Linn.

長崎県カテゴリー ; —
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 各地少ない
県内 ; 各地少ない

摘要

水田や低湿地に生育する一年草。かつては水田雑草としてふつうに見られたが、除草剤に弱く、今ではまれとなった。



キヨスミウツボ (ハマウツボ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Phacellanthus tubiflorus Sieb. et Zucc.

長崎県カテゴリー ; —
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧長崎市北部
県内 ; 雲仙山系、多良山系、平戸市、長与町

摘要

山地の林床に生育する寄生植物で、全体白色をしているが、後に黄褐色となる。高さは5~10cmで、茎は太く多肉質、葉は鱗片状、花は長さ2~3cmで茎の先端部に数個以上咲かせる。



ムラサキセンブリ (リンドウ科)

準絶滅危惧(NT)

Swertia pseudochinensis Hara

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)

分布

市内 ; 各地少ない
県内 ; 各地少ない

摘要

山地の日当たりの良い草地に生育する高さ数10cmの一年草。葉は対生で線状披針形、秋に茎の先端部に濃紅紫色の花を多数咲かせる。



スズサイコ (ガガイモ科)

準絶滅危惧(NT)

Cynanchum paniculatum (Bunge) Kitagawa

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)

分布

市内 ; 旧長崎市西部・南部・北部
県内 ; 各地に少ない

摘要

山地のススキ草原に生育する。茎は細く、直立し、葉も細く線形であり、花期以外は目立たない。7~8月に茎の上部に淡黄褐色の小さな花を多数咲かせる。



ダンギク (クマツヅラ科)

準絶滅危惧(NT)

Caryopteris incana (Thunb.) Miq.

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 各地
県内 ; 対馬、五島、県西部

摘要

茎は直立し、下部は木化する。葉は対生で、卵形、先端は尖る。縁には粗い鋸歯が在る。秋に茎の先端に紫色の美しい花を多く咲かせる。減少の原因として、山地の開発があげられる。



(3) - ③ 植物 (合弁花)

ヤマジソ (シソ科)

準絶滅危惧(NT)

Mosla japonica (Benth.) Maxim.

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)

分布

市内 ; 旧長崎市南部・北部
県内 ; 各地

摘要

日当たりのよい丘陵地の裸地などに生育する小型の1年草。葉は卵形または狭卵形で鋸歯がある。しばしば紅紫色になる。秋に茎の先端に淡紅紫色の小さい花を咲かせる。



ミゾコウジュ (シソ科)

準絶滅危惧(NT)

Salvia plebeia R. Br.

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)

分布

市内 ; 各地少ない
県内 ; 各地少ない

摘要

茎に着く葉は対生で、卵状長楕円形で、根生葉よりも小さく2~5cmである。5~6月に茎の上部に淡紫色の小さな花を多数咲かせる。



カワジシヤ (ゴマノハグサ科)

準絶滅危惧(NT)

Veronica undulata Wall.

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)

分布

市内 ; 各地少ない
県内 ; 各地少ない

摘要

葉が互生し、長楕円状皮針形で、長さ4~7cm、縁には細かいきょ歯がある。歯柄はなく、基部は茎を少し抱く。4~6月に葉腋から花序を出し、薄青紫色の花を咲かせる。



ミサオノキ (アカネ科)

準絶滅危惧(NT)

Randia cochinchinensis (Lour.) Merr.

長崎県カテゴリー ; —
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 各地の谷
県内 ; 諫早市、福江島、長与町

摘要

葉質は革質で無毛、表面は光沢がある。夏に短い集散花序を出し、黄色の花を咲かせる。果実は晩秋から赤く熟す。



ツルギキョウ (キキョウ科)

準絶滅危惧(NT)

Campanumoea maximowiczii Honda

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 各地まれ
県内 ; 各地少ない

摘要

林縁部に生育するつる植物。葉は卵状心臓形、長さ2~5cm、葉質は薄く紙質で、裏面はやや白色を帯びる。夏に葉腋に1個の花を下向きに咲かせる。花筒の内部は紫色で5裂し反り返る。



キクタニギク (キク科)

準絶滅危惧(NT)

Dendranthema boreale (Makino) Kitam.

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)

分布

市内 ; 香焼町
県内 ; 北部に多い

摘要

林縁部や崖地に生育する多年草。茎は1m以上に伸び倒れる。シマカンギクに似ているが、花はやや小さく、葉の切れ込みが深い。



ゴマクサ (ゴマノハグサ科)

情報不足(DD)

Centranthera chevalieri Bonati

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B 類 (EN)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 旧長崎市
県内 ; 各地少ない

摘要

関東地方以西の本州、四国、九州、琉球に分布する一年草。水田などの湿地に生育し、和名はゴマの香りがすることから名づけられた。



蓑田 清隆氏 写真提供

ウラジロヤナギアザミ (キク科)

情報不足(DD)

Cirsium lineare var. *discolor*

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧長崎市
県内 ;

摘要

母種のヤナギアザミとは葉裏に毛が多く白色になることで区別される。変種として扱われているが、その変異ははっきりしていない。山地の草地に生育し、花は秋、葉は線形になる特徴がある。

情報収集中

(3) - ③ 植物 (合弁花)

アキノハハコグサ (キク科)

情報不足(DD)

Gnaphalium hypoleucum DC.

長崎県カテゴリー ; 情報不足(DD)

環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧長崎市

県内 ; 対馬市

摘要

乾燥した土地に生育する一年草。植物体全体に白い綿毛が生えている。葉は互生、細く披針形。秋に散房花序を出し、黄色の花を咲かせる。県内ではまれで、近年は確認されていない。

情報収集中

ゴマシオホシクサ (ホシクサ科)

絶

滅(EX)

Eriocaulon senile Honda

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B 類 (EN)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 I B 類 (EN)

分布

市内 ;
県内 ; 五島市、大村市

摘要

葉は株が幅4~9mmで、先は細くなり、鈍頭である。花茎は葉の長さの2~3倍と長く伸びる。頭花はやや白みがかった藍黒色である。松崎町に知られていたが、埋立てのため消滅した。



ツレサギソウ (ラン科)

絶

滅(EX)

Platanthera japonica (Thunb.) Lindl.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I A 類 (CR)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ;
県内 ; 諫早市、東彼杵町、対馬

摘要

草原に生育する高さ50cmくらいの多年草で、葉は5~8枚で狭長楕円形、質が厚い。5~6月に多数の白色の花を咲かせる。最近の確認されていない。



蓑田 清隆氏 写真提供

キバナノセキコク (ラン科)

絶

滅(EX)

Dendrobium tosaense Makino

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I A 類 (CR)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 I B 類 (EN)

分布

市内 ;
県内 ; 西彼杵半島、島原半島

摘要

樹上や岩壁に垂れさがって着生し、夏から秋に茎の上方から花序を出し、5個あまりの黄色を帯びた緑色の花を咲かせる。盗掘により県内ではほとんど見られなくなった。



蓑田 清隆氏 写真提供

ササバラ (ラン科)

絶

滅(EX)

Liparis odorata (Willd.) Lindl.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 I B 類 (EN)

分布

市内 ;
県内 ; 諫早市、佐世保市、波佐見町、東彼杵町

摘要

草原に生育する高さ20~30cmのランで、葉は狭長楕円形で、下部にだけつける。初夏に黄緑色の小さな花を多数咲かせる。



蓑田 清隆氏 写真提供

(3) - ④ 植物 (単子葉植物)

ウチョウラン (ラン科)

絶

滅(EX)

Orchis graminifolia (Reichb. fil.) Tang et Wang

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B 類 (EN)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ;
県内 ; 多良山系、平戸市、対馬市など

摘要

湿った岩壁に生育し、葉は2~3枚、広線形、上方は湾曲する。初夏に紅紫色の美しい花を咲かせる。盗掘により、県全体でも最近ほとんど見なくなった。



蓑田 清隆氏 写真提供

ミヤマムギラン (ラン科)

絶

滅(EX)

Bulbophyllum japonicum (Makino) Makino

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I A 類 (CR)
環境省カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)

分布

市内 ;
県内 ;

摘要

樹幹や岩上に着生する小型のランで、匍匐(ほふく)する根茎にまばらに偽球茎をつけ、その上に長さ4~6cmの長楕円形の葉を1個つける。長崎大水害で消失した。

情報収集中

クマガイソウ (ラン科)

絶

滅(EX)

Cypripedium japonicum Thunb.

長崎県カテゴリー ; 情報不足 (DD)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ;
県内 ;

摘要

山地の林内に生育し、茎は高さ30cmほどで、扇円形の葉を2枚つける。晩春に茎の先端に1個の大きな花を咲かせる。かつて旧長崎市南部で発見されたことがある。

情報収集中

イトモ (ヒルムシロ科)

絶滅危惧 I A 類 (CR)

Potamogeton berchtoldii Fieber

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)
環境省カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)

分布

市内 ; 旧琴海町
県内 ; 各地まれ

摘要

水中に生育する多年草で、葉は非常に細く、幅は1.5mm以下である。葉の縁に鋸歯はない。



センニンモ (ヒルムシロ科)

絶滅危惧 I A類 (CR)

Potamogeton maackianus A. Bennett

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧琴海町
県内 ; 島原市、長与町

摘要

水中に生育する多年草。葉は広線形で幅2~3mm、3本の縦の葉脈が見える。葉の基部は葉鞘となり、茎を抱いている。

情報収集中

ヤナギモ (ヒルムシロ科)

絶滅危惧 I A類 (CR)

Potamogeton oxyphyllus Miq.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧琴海町
県内 ; 大村市、佐世保市、五島市、長与町ほか

摘要

水中に生育する多年草、葉は線形で幅2~3.5mm、葉縁には鋸歯がなく、波状になる。先端は尖る。



リュウノヒゲモ (ヒルムシロ科)

絶滅危惧 I A類 (CR)

Potamogeton pectinatus L.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)
環境省カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)

分布

市内 ; 旧琴海町
県内 ; 佐世保市、対馬、福島町、宇久島

摘要

海岸近くの水路やため池に生育する多年草で、茎は細く、多く分枝する。葉は幅0.5~1mmで、葉縁には鋸歯はない。葉の基部は長さ1~2cmの葉鞘となり茎を抱いている。



トゲウミヒルモ (トチカガミ科)

絶滅危惧 I A類 (CR)

Halophila decipiens Ostenf.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧琴海町
県内 ; 大村湾沿岸

摘要

浅い海底に生育する一年草で、茎は海底を這い、節から一対の葉を出す。葉身は線状長楕円形から皮針形、葉柄は0.4~1cmである。熱帯海域に広く分布し、日本では沖縄県と長崎県大村湾で見つかっている。



(3) - ④ 植物 (単子葉植物)

オオホシクサ (ホシクサ科)

絶滅危惧 I A類 (CR)

Eriocaulon buergerianum Koernicke

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 松崎町
県内 ; 東彼杵町、大村市

摘要

葉は基部で幅4~9mm、先は次第に細くなる。花茎は葉よりも長く、1.5~2倍である。頭花は白色で、総苞片は小さい。ふつう群生しているので美しい。



クロホシクサ (ホシクサ科)

絶滅危惧 I A類 (CR)

Eriocaulon parvum Koernicke

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 旧長崎市北部
県内 ; 諫早市、東彼杵町、五島市

摘要

湿地に生育する小型の一年草で、葉は線形で叢生し、長さ4~5cm、反り返る。秋に花茎を多数直立させ、先端に黒藍色の頭花をつける。



ガンゼキラン (ラン科)

絶滅危惧 I A類 (CR)

Phaius flavus (Blume) Lindl.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I A類 (CR)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 長崎市東部
県内 ; 各地まれ

摘要

照葉樹林下に生育し、地表面には卵状の偽球が生じ、最も新しい偽球から3~5枚の葉を出す。葉は狭楕円形で先端は尖る。5月に偽球の下部から高さ40~60cmの花茎を伸ばし淡黄色の美しい花を8~18個咲かせる。



ムカデラン (ラン科)

絶滅危惧 I A類 (CR)

Sarcanthus scolopendrifolius Makino

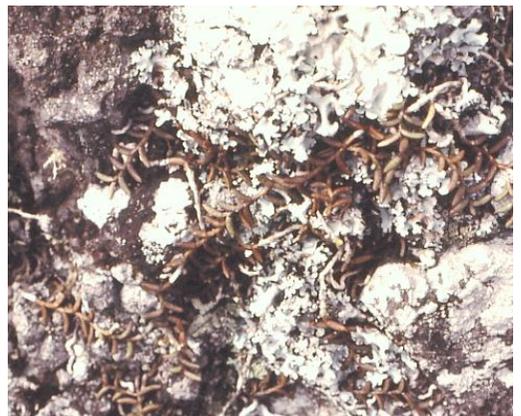
長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I A類 (CR)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 旧長崎市西部
県内 ; 雲仙山系、多良山系

摘要

茎は細くはって枝分かかれし、葉はまばらで互生し、多肉質、針状皮針形、長さ3~6mm。6~7月に淡紅色の花を咲かせる。



マメツタラン (ラン科)

絶滅危惧 I A類 (CR)

Bulbophyllum drymoglossum Maxim.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)
環境省カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)

分布

市内 ; 旧長崎市西部
県内 ; 平戸市、対馬南部

摘要

樹幹や岩上に着生する小型のランで、根茎は匍匐し、所々に円形の葉をつける。葉はやや多肉質で、長さ7~13mm、5~6月に黄色の小さな花をつける。



ムギラン (ラン科)

絶滅危惧 I A類 (CR)

Bulbophyllum inconspicuum Maxim.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)
環境省カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)

分布

市内 ; 旧長崎市
県内 ; 各地まれ

摘要

樹幹や岩上に着生する小型のランで、根茎は細く這い、まばらに偽球茎をつけ、その上に肉質の長楕円形の葉を1枚着ける。初夏に帯黄白色の小さい花を咲かせる。森林の伐採等で少なくなった。



蓑田 清隆氏 写真提供

ナツエビネ (ラン科)

絶滅危惧 I A類 (CR)

Calanthe reflexa Maxim.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 旧長崎市南部
県内 ; 島原半島

摘要

山地の林床に生育する多年草で、葉は束生し、狭長楕円形、長さ20~30cm、やや白味を帯びた緑色で縦じわが多い。夏に花茎を伸ばし、10~20個の薄紫色の花を咲かせる。



キエビネ (ラン科)

絶滅危惧 I A類 (CR)

Calanthe sieboldii Decne.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)

分布

市内 ; 各地まれ
県内 ; 各地まれ

摘要

30年ほど前には岩屋山の一部に群生していたが、今では、ほとんど見られなくなった。減少の原因は花が美しいので、栽培のため採取されることである。販売のため業者が採取することも多い。



(3) - ④ 植物 (単子葉植物)

セッコク (ラン科)

絶滅危惧 I A類 (CR)

Dendrobium moniliforme (L.) Sw.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧長崎市
県内 ; 平戸市、対馬市、大村市など

摘要

樹幹や岩上に着生するやや小型の多年草で、根元から多数の円柱形の茎を出す。若い茎には数枚の葉が互生してつく。花は葉のない茎の先端につき、5~6月に淡黄色の花を咲かせる。



フウラン (ラン科)

絶滅危惧 I A類 (CR)

Neofinetia falcata (Thunb. ex Murray) Hu

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 長崎市東部
県内 ; 平戸市、対馬市、長与町など

摘要

葉は広線形で、多肉質、やや硬く、下部は多数の葉が重なりあって茎を抱く。7月下旬ごろ、葉腋から花茎を出し、白色の径約1cmの花を数個咲かせる。



ツチアケビ (ラン科)

絶滅危惧 I A類 (CR)

Galeola septentrionalis Reichb. fil.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧長崎市北部
県内 ; 雲仙山系、多良山系

摘要

林下や林縁に生育する腐生ランで、初夏に茎を伸ばし、高さ60~100cm、全体が褐色で所々に鱗片葉をつける。秋に全体が赤いウィナーソーセージのような果実をつける。



ムカゴソウ (ラン科)

絶滅危惧 I A類 (CR)

Herminium lanceum (Thunb.) Vuijk var. *longicrure* (Wright) Hara

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)
環境省カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)

分布

市内 ; 各地まれ
県内 ; 各地まれ

摘要

やや土壌の浅い立地に発達した草丈の低い草原に生育し、葉は互生し、線形で2~3枚、基部は茎を包む。7月ごろ細長い総状花序を出し、黄緑色の小さな花を多数つける。



ヒメフタバラン (ラン科)

絶滅危惧 I A類(CR)

Listera japonica Blume

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 長崎市東部、旧長崎市北部
県内 ; 佐世保市、五島市

摘要

林下に生育する小型のランで、葉は和名のように2枚で、卵状三角形、先端はやや尖る。春に数個の小さな花を咲かせる。



蓑田 清隆氏 写真提供

カンラン (ラン科)

絶滅危惧 I A類(CR)

Cymbidium kanran Makino

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 I A類 (CR)

分布

市内 ; 各地まれ
県内 ; 県内各地にまれ

摘要

照葉樹林の林床に生育し、葉は線形で叢生しシュンランに似ている。冬に花序を伸ばし、5個あまりの紫色を帯びた花を咲かせる。盗掘のため、県内ではほとんど見られなくなった。



蓑田 清隆氏 写真提供

コアマモ (アマモ科)

絶滅危惧 I B類(EN)

Zostera japonica Aschers. et Graebn.

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧琴海町
県内 ; 各地少ない

摘要

浅海の海底の砂泥に生育する海産種子植物で、ふつう干潮時には干上がる生育地が多いが、大村湾沿岸では干上がることはない。葉は線形で、幅1.5~2mmで群生している。



スプタ (トチカガミ科)

絶滅危惧 I B類(EN)

Blyxa echinosperma (Clarke) Hook. fil.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 旧琴海町
県内 ; 各地少ない

摘要

水田や水田の縁の水路などに生育する小型の多年草で、葉は線形、先端部に向かって細くなり、叢生する。夏に白色の小さい花を咲かせる。



(3) - ④ 植物 (単子葉植物)

ウエマツソウ (ホンゴウソウ科)

絶滅危惧 I B類(EN)

Sciaphila tosaensis Makino

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 本河内町
県内 ; 五島市

摘要

照葉樹林の林床に生育する小型の腐生植物で、茎の高さは10cm以下、全体が赤紫色をしている。総状花序を伸ばし、数~9個の花を咲かせる。



ホンゴウソウ (ホンゴウソウ科)

絶滅危惧 I B類(EN)

Andruris japonica (Makino) Giesen

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 本河内町、旧外海町
県内 ; 西海市、諫早市、平戸市、対馬市など

摘要

照葉樹林の林床に生育する小型の腐生植物で、全体が赤紫色をし、ウエマツソウに似ている。



ヤマトミクリ (ミクリ科)

絶滅危惧 I B類(EN)

Sparganium fallax Graebn.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)
環境省カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)

分布

市内 ; 旧琴海町
県内 ; 西海市、佐世保市、五島市

摘要

湿地や沼地に生育する中型の多年草で、雌雄異花で、雌性頭花は球形花序で数個がつく。葉は線形で、幅は1cm以下で、裏面に陵がある。



キノクニスゲ (カヤツリグサ科)

絶滅危惧 I B類(EN)

Carex matsumurae Franch.

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)

分布

市内 ; 旧野母崎町
県内 ; 各地の島嶼にまれ

摘要

タブノキ林の林床に生育する大型のスゲで、ふつう島嶼部に分布する。多数の葉を叢生し、3月に花序を出す。



シラコスゲ (カヤツリグサ科)

絶滅危惧 I B類 (EN)

Carex rhizopoda Maxim.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 松崎町神浦川上流
県内 ; 雲仙山系、佐世保市など

摘要

生育立地は河川の上流部や源流域で、半日陰地であり、ふつう群生する。株は叢生し、密に葉を出す。葉は柔らかく、葉鞘は褐色となる。5月に花茎を伸ばし、先端に長さ3~5cmの小穂をつける。



オオクグ (カヤツリグサ科)

絶滅危惧 I B類 (EN)

Carex rugulosa Kukenth.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)
環境省カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)

分布

市内 ; 旧三和町 (川原大池)
県内 ; 対馬市

摘要

海岸近くの湿地に生育する大型のスゲで、高さ50~80cm、葉は幅5~8mm、春に果穂を出し、初夏に熟す。



ハナビスゲ (カヤツリグサ科)

絶滅危惧 I B類 (EN)

Carex cruciata Wahlenb.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)

分布

市内 ; 旧琴海町
県内 ; 西海市

摘要

山地の谷沿いに生育する大型のスゲで、外見はスゲらしくなく、オオシンジュガヤに似た円錐花序を出す。茎は斜めに伸び、長さ60~100cm、葉は幅広く約1cmある。



ヤリテンツキ (カヤツリグサ科)

絶滅危惧 I B類 (EN)

Fimbristylis ovata (Burm. fil) Kern

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 旧三和町
県内 ; 五島市、西海市、壱岐市、宇久島、小値賀島など

摘要

海岸近くの草地に生育する小型の多年草で、高さ15~30cm、葉は針状、小穂は卵形で扁平、やや光沢がある。

情報収集中

(3) — ④ 植物 (単子葉植物)

ヌカスゲ (カヤツリグサ科)

絶滅危惧 I B類 (EN)

Carex mitrata Franch.

長崎県カテゴリー ; —
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 三原町
県内 ;

摘要

林縁部に生育する中型のスゲで、アオスゲなどと似ており、慣れないと区別が難しい。他の種よりも早く、3月下旬に果実が熟し、鱗片にはノギがない特徴がある。

情報収集中

ニッポンイヌノヒゲ (ホシクサ科)

絶滅危惧 I B類 (EN)

Eriocaulon hondoense Satake

長崎県カテゴリー ; —
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 長崎市北部
県内 ; 各地少ない

摘要

シロイヌノヒゲに比べて、叢生した葉は開出し、広線形で幅は基部で5~8mmと広く、やや厚い。花茎は短いものから長いものまでいろいろあり、高さ6~20cm、頭花は白色とならない。総包片は発達し、先は鋭尖頭で花よりも長い。



ヒメナベワリ (ビャクブ科)

絶滅危惧 I B類 (EN)

Croomia japonica Miq.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 畦別当町、飯香浦町
県内 ; 雲仙山系、国見山など

摘要

葉は長卵形で、縁はやや波打ち、先端は尖る。4月頃、葉腋から細長い柄を出し、先に1個の花をつける。花は淡緑色で、径7~10mmである。ナベワリに似ているが、葉の数は多く、葉質もやや厚く光沢がある。



ナガサキギボウシ (ユリ科)

絶滅危惧 I B類 (EN)

Hosta tibae F. Maek.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 旧長崎市西部・南部・北部
県内 ;

摘要

葉は卵形または長卵形で、長さ15~25cm、質はやや厚く、基部は葉柄にやや流れる。花は9月中旬、長く花茎が伸び、多くの淡紫色の花を咲かせる。



ムジナノカミソリ (ヒガンバナ科)

絶滅危惧 I B類(EN)

Lycoris koreana Nakai

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I A類 (CR)
環境省カテゴリー ; 野生絶滅 (EW)

分布

市内 ; 旧長崎市南部など
県内 ; 平戸市、宇久島、対馬市

摘要

宮崎県の産地が知られ、絶滅してしまっただが、長崎県内にはまれであるが各地に生育している。花はヒガンバナよりも少し早く、色は橙赤色である。



エビネ (ラン科)

絶滅危惧 I B類(EN)

Calanthe discolor Lindl.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)
環境省カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)

分布

市内 ; 各地少ない
県内 ; 各地少ない

摘要

かつては多くの産地があったが、今ではまれで、絶滅した地域も多い。長崎県ではほぼ全域に分布し、多く見られたが、近年は急激に少なくなっている。減少の原因は盗掘である。



ヒナラン (ラン科)

絶滅危惧 I B類(EN)

Amitostigma gracile (Blume) Schltr.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)

分布

市内 ; 旧外海町、旧長崎市
県内 ; 佐世保市、川棚町など

摘要

山地の崖地に生育し、葉は1枚で長楕円形、斜めに茎を伸ばす。6月頃、茎の先端に10~15個の小さな薄紅色の花を咲かせる。



ボウラン (ラン科)

絶滅危惧 I B類(EN)

Luisia teres (Thunb. ex Murray) Blome

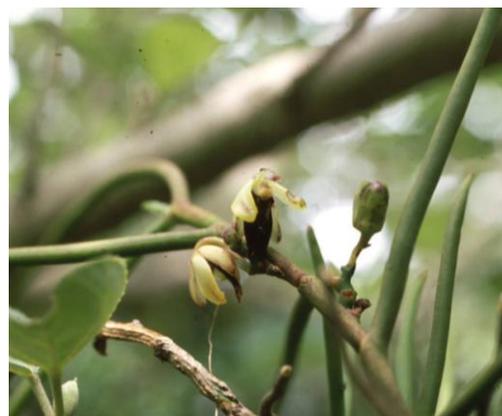
長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)
環境省カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)

分布

市内 ; 旧長崎市西部
県内 ; 諫早市、南島原市、西海市、五島市など

摘要

葉は互生し、多肉質で円柱状、長さ6~12cm、茎を包む。6月ごろ短い総状花序を出し、数個の花を咲かせる。花は径1cm、黒紫色である。



(3) - ④ 植物 (単子葉植物)

クモキリソウ (ラン科)

絶滅危惧 I B類(EN)

Liparis kumokiri F. Maekawa

長崎県カテゴリー ; —
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧長崎市南部
県内 ; 雲仙山系、多良山系、平戸島の安満岳、対馬有明山など

摘要

林縁や明るい落葉樹林の林床に生育し、葉は2枚、短い茎から互生し、楕円形、鮮緑色で縁は少し波うつ。6月ごろ、長さ15~20cmの総状花序を出し、淡緑色の花を咲かせる。



ムヨウラン (ラン科)

絶滅危惧 I B類(EN)

Lecanorchis japonica Blume

長崎県カテゴリー ; —
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 各地まれ
県内 ; 各地まれ

摘要

照葉樹林の林床に生育する腐生植物で、高さは30~40cm、鞘状葉をまばらにつけるだけである。花茎は汚白色であるが、後に黒色となる。



蓑田 清隆氏 写真提供

シュスラン (ラン科)

絶滅危惧 I B類(EN)

Goodyera velutina Maxim.

長崎県カテゴリー ; —
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 各地まれ
県内 ; 各地まれ

摘要

林床に生育する小型のランで、葉はビロードのような光沢があり、和名の繻子はそれに由来する。夏に淡褐色の小さな花を数~10個咲かせる。



サイハイラン (ラン科)

絶滅危惧 I B類(EN)

Cremastra appendiculata (D. Don) Makino

長崎県カテゴリー ; —
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 各地まれ
県内 ; 各地まれ

摘要

林床に生育する中型のランで、葉は狭長楕円形、晩春から初夏に花茎を伸ばし、10数個の花を下向きにやや密に咲かせる。和名はこの姿を采配にみたてたものである。



ヤクシマネツタイラン (ラン科)

絶滅危惧 I B類(EN)

Tropidia nipponica Masam.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 旧長崎市北部
県内 ; 対馬市、壱岐市、五島市

摘要

照葉樹林の林床に生育する小型のランで、初夏に花茎の先端部にややかたまって数~10個の小さな白色の花を咲かせる。



ウスギムヨウラン (ラン科)

絶滅危惧 I B類(EN)

Lecanorchis kiusiana Tuyama

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)

分布

市内 ; 旧長崎市北部
県内 ; 西海市

摘要

照葉樹林の林床に生育するやや小型の腐生ランで、葉はない。全体に黄褐色であるが、後黒色になる。花は初夏に数個つける。



蓑田 清隆氏 写真提供

ビロウ (ヤシ科)

絶滅危惧 I B類(EN)

Livistona chinensis (N.J. Jacq.) R. Br. ex Martius var. *subglobosa* (Hassk.) Martius

長崎県カテゴリー ; —
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 大ひき島
県内 ; 五島列島、平戸市

摘要

高さ10~15m、幹の直径数10cmになり、シュロを大型にしたようなヤシである。葉はかたく、先端部のものを除いて下垂し、葉柄も入れると3m以上にもなる。葉柄にはするどい逆トゲが発達している。



ホソバミズヒキモ (ヒルムシロ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Potamogeton octandrus Poiret

長崎県カテゴリー ; —
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧琴海町
県内 ; 各地少ない

摘要

池沼に生育する沈水植物で、浮水葉は1cmあまりで、長楕円形、先は尖る。コバノヒルムシロに似ているが、果実の背面の突起が不明瞭であることである。

情報収集中

(3) - ④ 植物 (単子葉植物)

オオトリゲモ (イバラモ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Najas oguraensis Miki

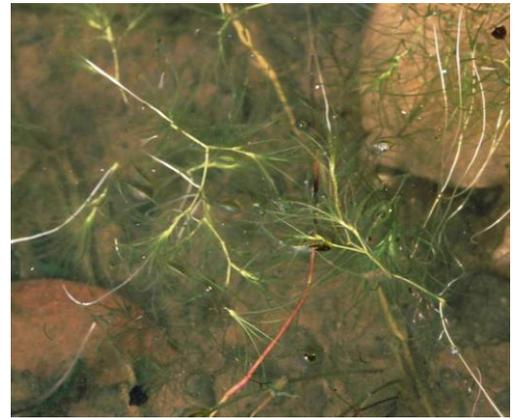
長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B 類 (EN)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 川原大池
県内 ; 対馬市

摘要

沼沢地に生育する沈水植物で、大きなものはよく枝分かかれし、茎の長さ1mにもなる。葉は互生し長さ約3cm、幅は1mm以下で、縁にトゲがある。



シバナ (シバナ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Triglochin maritimum L.

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 旧琴海町
県内 ; 各地少ない

摘要

河口や干潟などに生育する塩生植物で、高さ10~30cm、葉は叢生し、線形、やや多肉質。ふつうに群生している。



ヤマトウミヒルモ (トチカガミ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Halophila nipponica J. Kuo

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧琴海町
県内 ; 大村湾沿岸、佐世保市、新上五島町など

摘要

波静かな内湾に生育する海産の小型の種子植物で、茎は海底の砂泥中を這い、節ごとに2枚の線状長楕円形から広線形の葉をつける。



ヤナギスブタ (トチカガミ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Blyxa japonica (Miq.) Maxim.

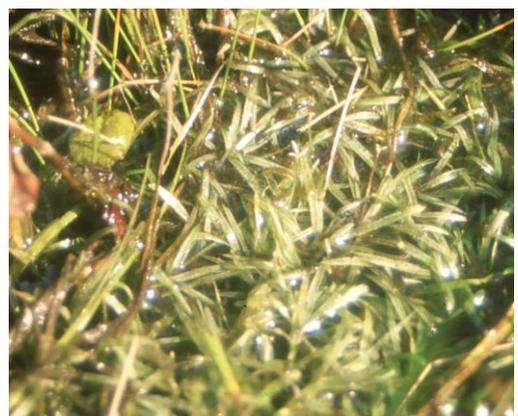
長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 飯盛岳南部、旧琴海町
県内 ; 本土側各地少ない

摘要

湿地や水田の溝などの浅い水中に生育するが、除草剤の影響や耕地整理、あるいは山間部の水田では放棄による自然遷移により急激に少なくなっている。



ミズオオバコ (トチカガミ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Ottelia japonica Miq.

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 長崎市北部
県内 ; 各地に少ない

摘要

溜め池や水田の縁の溝、まれに水田に生育する。葉は柔らかく、皮針形または卵状広楕円形で、縁は波打つ。夏から秋にかけて薄桃色の花を咲かせる。



セキショウモ (トチカガミ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Vallisneria natans (Lour.) Hara

長崎県カテゴリー ; —
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 川原大池
県内 ;

摘要

池や川に生育する沈水植物で、葉は根生し線形。地下茎で繁殖するので、群生している。花は夏、雌雄異花である。花後、花茎はらせんをまき、子房を水中に引き込む。



タイワンスゲ (カヤツリグサ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Carex formosensis Lev. et Vnt.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 竿浦町、千々町、深堀町、泉町、岩屋山、稲佐山など
県内 ;

摘要

稈は直立することはなく、ふつうに垂れ下がり、葉よりも長く伸びる。果実の特徴があり、長さ約2.5mm、中央がくびれ、ややひょうたん型となる。



キシウナキリスゲ (カヤツリグサ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Carex nachiana Ohwi

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B 類 (EN)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 長崎市南部
県内 ; 西海市

摘要

ナキリスゲに似ているが、それよりも大型で、果胞は長さ3.5~4.5mm、両面はほとんど平滑であり、縁にのみ毛がある。果期はナキリスゲよりも早く、10月下旬から11月上旬に落下が始まる。



(3) - ④ 植物 (単子葉植物)

コウボウムギ (カヤツリグサ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Carex kobomugi Ohwi

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧三和町、旧野母崎町
県内 ; 各地少ない

摘要

砂浜に生育する多年草で、地下茎はよく伸び、ふつうに群生している。葉は硬く、縁はざらつく。雌雄異株、春に円中形の花穂を出す。



マルバオウセイ (ユリ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Polygonatum trichosanctum Koidz.

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; 情報不足 (DD)

分布

市内 ; 各地
県内 ; 各地

摘要

本種は全国的に知られていないが、県内に広く分布するようで、これまでナルコユリと混同されてきた。



オオキツネノカミソリ (ヒガンバナ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Lycoris sanguinea Maxim. var. *kiushiana* Makino

長崎県カテゴリー ; —
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 岩屋山
県内 ; 多良山系、雲仙山系

摘要

林床に生育する多年草で、夏に花茎を出して大型の橙色の花を咲かせる。おしべは長く、花被片より突き出している。葉は幅は1cm以上あり、冬から春に茂らせる。



ヒナノシャクジョウ (ヒナノシャクジョウ科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Burmattia championii Thwaites

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧外海町
県内 ; 西海市、雲仙市、平戸市、対馬市ほか

摘要

小型の腐生植物で、夏に高さ数~10cmぐらいの茎を伸ばし、鱗片葉をまばらにつける。先端に長さ1cm以下の花を5~6個咲かせる。全草白色である。



シラン (ラン科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Bletilla storiata (Thunb.) Reichb. fil.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)
環境省カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)

分布

市内 ; 長崎市東部
県内 ; 西海市、佐世保市、諫早市、対馬市など

摘要

山地の露岩地などに生育する高さ50~70cmの多年草で、春に花茎を伸ばし、紅紫色の美しい花を咲かせる。まれに白花もある。ラン科植物の中では栽培が容易で古くから栽培される。



ギンラン (ラン科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Cephalanthera erecta (Thunb. ex Murray) Blume

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 各地少ない
県内 ; 各地少ない

摘要

キンランよりも全体が小型で、花も小さい。葉は互生し、楕円形で3~5枚、基部は茎を抱く。5月ごろ、茎の先端に白色の花を数個咲かせる。



ナギラン (ラン科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Cymbidium lancifolium Hook.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 各地まれ
県内 ; 各地まれ

摘要

照葉樹林の林床に生育するやや小型の多年草で、偽球茎に2~3枚の披針形の葉をつける。初夏に葉よりも少し高い花茎を伸ばし、数個の花を咲かせる。花は淡紫色を帯びた白色。



ニラバラン (ラン科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Microtis unifolia (Forst.) Reichb. fil.

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 長崎市東部
県内 ; 西海市、佐世保市、時津町など

摘要

日当たりの良い草地に生育するやや小型の多年草で、葉は1枚で線形で円柱状、春に花茎を伸ばし、淡緑色の小さな花を20~30個つける。



(3) — ④ 植物 (単子葉植物)

カキラン (ラン科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Epipactis thunbergii A. Gray

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 長崎市西部・南部・北部
県内 ; 各地少ない

摘要

生育地はミズゴケ湿地と山地のやや湿った草地で、6月ごろ茎の先端に総状花序を伸ばし、およそ10個のカキ色の花を咲かせる。減少の原因は湿地の埋め立て、開発などである。



ミズトンボ (ラン科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Habenaria sagittifera Reichb. fil.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)
環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 長崎市西部・北部
県内 ; 諫早市、西海市、平戸市など

摘要

山地の湿地に生育し、葉は線形、9月頃、茎の先端に総状花序を出して、10~20個の緑白色の花を咲かせる。地下には球茎がある。



キンラン (ラン科)

絶滅危惧 II 類(VU)

Cephalanthera falata (Thunb.) Blume

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 各地少ない
県内 ; 各地少ない

摘要

葉は互生し、広皮針形で5~7枚、基部は茎を抱く。5月ごろ、茎の先端に黄色の美しい花を数個から10個咲かせる。かつて田手原町付近に群生地があったが、ゴルフ場造成のために消滅した。



コキンバイザサ (キンバイザサ科)

準絶滅危惧(NT)

Hypoxis aurea Lour.

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 岩屋山、金比羅山など
県内 ; 平戸島、鷹島、本土側各地まれ

摘要

山地の草原に生育する高さ約25cmの多年生草本で、キンバイザサに似ているが、葉ははるかに幅が狭く、狭線形である。花梗が長く、花はやや小さく、径約1cmである。



ウンヌケモドキ (イネ科)

準絶滅危惧(NT)

Eulalia quadrinervis (Hack.) O. Kuntze

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B 類 (EN)
環境省カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)

分布

市内 ; 矢筈岳、飯盛岳南部
県内 ;

摘要

日当りの良い乾燥した草地に生育し、ススキに似ているが、全体にやせてほっそりしている。茎は直立する。葉は線形で、両面にまばらに毛が生えている。秋に茎の先端に掌状花序をだし、3~5本の長さ約10cmの花穂をつける。



ミノボロ (イネ科)

準絶滅危惧(NT)

Koeleria cristata (L.) Pers.

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 城山、矢筈岳
県内 ; 西海市、対馬市

摘要

葉は細い線形で、やや硬く、茎の下部に叢生する。5月頃、茎の先端に穂状の円錐花序を出す。穂の色は淡緑色で光沢がある。



コササキビ (イネ科)

準絶滅危惧(NT)

Setaria plicata (Lam.) T. Cooke

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧長崎市
県内 ; 平戸市、対馬市、平島

摘要

林縁部や草地に生育する多年草で、葉は狭披針形、幅は2~3cm、縦筋が多い。



ヒゲシバ (イネ科)

準絶滅危惧(NT)

Sporobolus japonicus (Steud.) Maxim.

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 甕岩
県内 ; 各地まれ

摘要

乾燥した草地に生育する小型の一年草で、葉は披針形で、縁に長く硬い毛が生えている。夏に線形の花序を伸ばす。



(3) - ④ 植物 (単子葉植物)

オニシバ (イネ科)

準絶滅危惧(NT)

Zoysia macrostachya Franch. et Savat.

長崎県カテゴリー ; —
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 高浜町
県内 ; 各地にまれ

摘要

砂浜に生育し、地下茎を伸ばして繁殖するため、ふつうに群生する。夏に数cmの花穂を伸ばし先端は尖り、硬い。



セイコノヨシ (イネ科)

準絶滅危惧(NT)

Phragmites karka (Retz.) Trin.

長崎県カテゴリー ; —
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧外海町の海岸
県内 ; 五島、壱岐など

摘要

ヨシを大型にしたような形態をし、葉は斜上に着く。地下茎で繁殖するため、ふつうに群生している。夏から秋にかけて長さ数10cmの大きな花序を出す。



スズメノコビエ (イネ科)

準絶滅危惧(NT)

Paspalum scrobiculatum L.

長崎県カテゴリー ; —
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 牧島町
県内 ; 各地少ない

摘要

海岸近くの草地や湿地の周辺などに生育する多年草で、スズメノヒエに似ているが、やや小型で、葉や茎には毛がほとんどない。



フサスゲ (カヤツリグサ科)

準絶滅危惧(NT)

Carex metallica Lev.

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧(NT)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 宮崎町、野母崎樺島町
県内 ; 佐世保市

摘要

海岸近くの湿地に生育する多年草で、春に比較的大きな小穂を数~10個着ける。果胞は淡黄緑色で、光沢があり、長さ7mmほどと大きい。



イトテンツキ (カヤツリグサ科)

準絶滅危惧(NT)

Bulbostylis densa (Wall.) Hand.-Mazz. var. *capitata* (Miq.) Ohwi

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 甌岩

県内 ; 本土側

摘要

乾いた山地の草原にまれに生育し、しばしばイトハナビテンツキと共に生育しているが、それよりも少なく、葉は淡褐色、針状で叢生する。夏から秋にかけて葉よりも長く花茎を伸ばし、先端に数個小さな頭花をつける。



イトハナビテンツキ (カヤツリグサ科)

準絶滅危惧(NT)

Bulbostylis densa (Wall.) Hand.-Mazz. var. *densa*

長崎県カテゴリー ; —

環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 矢筈岳、岩屋山、市民の森、烏帽子岩

県内 ; 本土側各地

摘要

株は叢生し、葉はきわめて細く、線状である。花茎も細く、葉よりも高く多数伸ばす。花穂は傘形、すなわち数個の花梗を生じ、それから2~3分岐して、その先に小穂を1個ずつつける。



ノグサ (カヤツリグサ科)

準絶滅危惧(NT)

Schoenus apogon Roem. et Schult.

長崎県カテゴリー ; —

環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 長崎市南部

県内 ; 西海市

摘要

おもに蛇紋岩地帯の草地に生育する小型の一年草で、細い葉を叢生し、高さ10~20cm、初夏に光沢のある赤茶色の穂をつける。



ヒカゲスゲ (カヤツリグサ科)

準絶滅危惧(NT)

Carex lanceolata Boott

長崎県カテゴリー ; —

環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 各地まれ

県内 ; 各地少ない

摘要

乾燥した林縁部の斜面などに生育するやや小型の多年草で、葉は細く2mm以下、根茎は這わず、大きな下部となって叢生する。春に短い花茎を出し、苞がよく発達している。果胞は長さ約3mmで、毛が多い。

情報収集中

(3) - ④ 植物 (単子葉植物)

タニガワスゲ (カヤツリグサ科)

準絶滅危惧(NT)

Carex forcicula Franch. et Savat.

長崎県カテゴリー ; —
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 琴海形上町、上戸町
県内 ; 対馬、諫早市

摘要

溪流沿いに生育する多年草で、岩の割れ目などから多くの株を出して、ややまばらに群生する。葉は細く、やや堅くざらつく。



シロイヌノヒゲ (ホシクサ科)

準絶滅危惧(NT)

Eriocaulon sikokianum Maxim.

長崎県カテゴリー ; —
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 長崎市北部
県内 ; 諫早市、大村市、西彼杵半島、対馬市

摘要

株は叢生し、線状の葉と多数の花茎を束生する。花茎は葉よりもはるかに長い。秋に花茎の先端に頭状花を開き、径5~7mm、白色で、総苞片は花序より長く、長卵状皮針形である。



イトイヌノヒゲ (ホシクサ科)

準絶滅危惧(NT)

Eriocaulon desemflorum Maxim.

長崎県カテゴリー ; —
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧琴海町
県内 ; 各地少ない

摘要

山間の湿地に生育するやや小型の一年草で、葉は細く、叢生するが、大きな株とはならない。秋に10~25cmの花茎を多く出し、先端に頭花をつける。



ヒメコウガイゼキショウ (イグサ科)

準絶滅危惧(NT)

Juncus bufonius L.

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧(NT)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 大山町、三重町など
県内 ; 各地少ない

摘要

茎は細い円柱形で束生し、小さな株をつくる。葉は細い線形で、やや扁平で短い。花は6~9月、集散花序をだし、目立たない小花を咲かせる。



ナベワリ (ビャクブ科)

準絶滅危惧(NT)

Croomia heterosepala (Baker) Okuyama

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)

環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧長崎市

県内 ; 雲仙山系、多良山系

摘要

林床に生育する中型の多年草で、葉は卵状長楕円形で、長さ10cm前後。先端は尖り、太い脈がある。春に葉腋から細い花柄が垂れ下がり、先端に1個の花を下向きに咲かせる。

情報収集中

ノヒメユリ (ユリ科)

準絶滅危惧(NT)

Lilium callosum Sieb. et Zucc.

長崎県カテゴリー ; 準絶滅危惧 (NT)

環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)

分布

市内 ; 長崎市南部の山地

県内 ; 対馬、壱岐を除く各地に少ない

摘要

茎は直立し、多くの葉をつける。葉は線形で、幅約5mm、長さ下部では10cm、上部では5cm、鮮緑色である。8月頃、茎の先端に少数の橙色の花をやや下向きに咲かせる。直径約4cmで、花被片は反り返る。



ツクシショウジョウバカマ (ユリ科)

準絶滅危惧(NT)

Heleniopsis orientalis (Thunb.) C. Tanaka var. *breviscapa* (Maxim.) Ohwi

長崎県カテゴリー ; —

環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧長崎市南部・北部

県内 ; 雲仙山系、多良山系、佐世保市

摘要

山地のやや湿った斜面などに生育していて、葉は多数根生し、倒披針形、先端は尖る。4月頃、花茎を伸ばし、先端に数個の白色の花を咲かせる。



ニシノハマカンゾウ (ユリ科)

準絶滅危惧(NT)

Hemerocallis fulva L. var. *aurantiaca* (Baker) M.Hotta

長崎県カテゴリー ; —

環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧長崎市西部

県内 ; 長崎県西部沿岸部

摘要

九州西部の沿岸部に分布し、岩上などに生育する多年草。葉は叢生し、鮮緑色で、先は垂れ下がる。初夏に葉よりも高く花茎を伸ばし、橙色の花を咲かせる。



(3) - ④ 植物 (単子葉植物)

ヒオウギ (アヤメ科)

準絶滅危惧(NT)

Belamcanda chinensis (Linn.) DC.

長崎県カテゴリー ; —
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 各地の尾根や山頂部
県内 ; 各地少ない

摘要

葉はやや白味を帯びた緑色で、剣状で重なり、扇形となる。夏に花序を伸ばし、径約5cmの黄赤色の花を咲かせる。花被片には赤色の斑点がある。美しいので鑑賞用に栽培されることもある。



ハマオモト (ヒガンバナ科)

準絶滅危惧(NT)

Crinum asiaticum L. var. *japonicum* Baker

長崎県カテゴリー ; —
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 長崎市南部
県内 ; 対馬市を除く各地海岸

摘要

葉鞘が重なり、太さ5~10cm、長さ20~50cmの偽茎となる。葉は長さ40~80cm、幅4~8cmで、偽茎の先端から四方に広げる。6~7月に花茎を伸ばし、数10個の白色の美しい花を咲かせる。



ミヤマウスラ (ラン科)

準絶滅危惧(NT)

Goodyera schlechterdaliana Reichb. fil.

長崎県カテゴリー ; —
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 各地に少ない
県内 ; 各地に少ない

摘要

林床に生育する小型の多年草で、葉は広卵形で白い模様が入る。夏に花茎を伸ばし、10個程度の淡紅色の花を咲かせる。



ドロイ (イグサ科)

情報不足(DD)

Juncus gracillimus (Buchen.) V. Krecz. et Gontsch.

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B類 (EN)
環境省カテゴリー ; —

分布

市内 ; 旧長崎市
県内 ; 大村市、佐世保市、平戸市、対馬市、五島市

摘要

海岸の泥地や岩上の湿地に生育する多年草で、根茎で繁殖するため群生している。茎は円柱形で高さ60~70cm、葉は線形、初夏に集散花序を出し、褐色の小さな花を密生させる。近年は確認されていない。



ユウシュンラン (ラン科)

情報不足(DD)

Cephalanthera erecta (Thunb.) Blume var. *subaphylla* (Miyabe et Kudo) Ohwi

長崎県カテゴリー ; 絶滅危惧 I B 類 (EN)

環境省カテゴリー ; 絶滅危惧 II 類 (VU)

分布

市内 ; 旧長崎市

県内 ; 佐世保市、平戸市、対馬市、多良山系

摘要

林床に生育する小型のランで、ギンランに似ているが、葉は2~3枚と少なく、最上部の1枚を除いて鞘状となる。市内では一度確認されただけで、その後不明である。



蓑田 清隆氏 写真提供

(3) — ④ 植物 (単子葉植物)